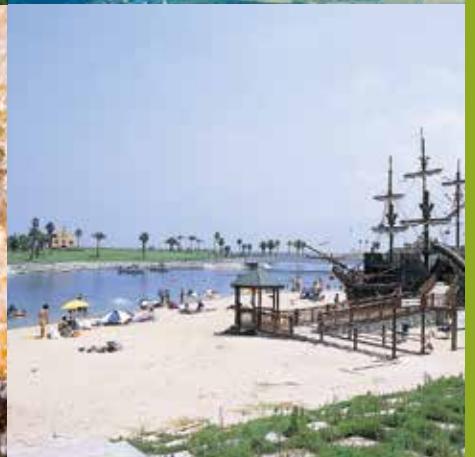


Clinical Training in OITA

大分で臨床研修はじめよう

自然・温泉・グルメ 魅力いっぱい大分！



大分県の 臨床研修病院

令和4年度採用

大分で臨床研修はじめよう

Contents

P 1	… 大分県の臨床研修病院
P 2	… 医学生の皆さんへ 大分県知事 広瀬勝貞
P 4	… 大分大学医学部 附属病院
P 6	… 大分県立病院
P 8	… 大分赤十字病院
P10	… 大分市医師会立 アルメイダ病院
P12	… 独立行政法人国立病院機構 大分医療センター
P14	… 社会医療法人敬和会 大分岡病院
P16	… 社会医療法人恵愛会 大分中村病院
P18	… 独立行政法人国立病院機構 別府医療センター
P20	… 国家公務員共済組合連合会 新別府病院
P22	… 大分県厚生連 鶴見病院
P24	… 中津市立 中津市民病院
P26	… 大分県済生会 日田病院
P28	… 県内の専門研修プログラムの連携施設について
P32	… 大分県医師会男女共同参画委員会より
P32	… 大分大学の取り組み

大分県の臨床研修病院

～大分県の基幹型臨床研修病院(12病院)を紹介します～



医 学 生 の 皆 さ ん へ



大分県知事
広瀬 勝貞

“日本一のおんせん県”である大分県は、温泉はもちろんのこと、九州の屋根「くじゅう連山」や風光明媚なりアス式海岸など豊かな天然自然に恵まれ、その他にも歴史や食文化など多くの魅力に溢れています。

また、日本で初めて西洋医学の病院を建設した大友宗麟や「解体新書」の編纂を手がけた前野良沢を輩出するなど、古くから医学とゆかり深い地でもあります。

私は、県民の皆さんの協力をいただきながら「安心・活力・発展」の大分県づくりを進めています。そのような中、人口減少に歯止めをかけ、地方を元気にするには、県民の皆さんが、いつでも、どこにいても、安心して適切な医療を受けられる地



域医療体制の維持・充実が不可欠です。特に、一昨
年からの新型コロナウイルス感染症対策など、有
事に最前線で活躍する医療従事者の確保はとり
わけ重要です。

近年、全国的に医師不足が深刻化する中、本県
においても、医師の地域偏在や小児科・産婦人科な
ど特定診療科の医師不足が課題となっています。

そのため、一人でも多くの志ある医師の皆さん
に本県で活躍していただけるよう、将来の地域医
療を担う医学生への修学資金の貸与や、専門研修
中の医師に対する研修資金の貸与、地域中核病院
等で勤務する医師の国内外での研修費助成など、
医師の育成に全力で取り組んでいるところです。

このような中、県内の各臨床研修病院においては、

これからキャリアを積まれていく研修医の皆さん
に、将来を担う優れた医師に育っていただくため、そ
れぞれの特徴を生かし、柔軟で多様な研修プログラ
ムをご用意しています。

また、初期臨床研修後も、皆さんが志す専門分
野で活躍できるよう、大学や医師会、医療機関等
と連携して、しっかりサポートしていきたいと考
えています。

これから医師として研鑽を積まれる皆さんに
とって、本県は、研修の場としても、また生活の場
としても、魅力に溢れた地域であると自負してい
ます。

ぜひ、この大分の地で医師としての第一歩を踏
み出してください。心から歓迎いたします。





大分大学医学部 附属病院

所在地 | 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

病院長 | 三股 浩光

病院の概要

- 開 設 者：国立大学法人大分大学
- 開設年月日：昭和56年10月1日
- 診 療 科 目：呼吸器・感染症内科、内分泌・糖尿病内科、膠原病内科、腎臓内科、脳神経内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、総合内科・総合診療科、精神科、小児科、消化器外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、腎臓外科・泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、産科婦人科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、臨床薬理センター、高度救命救急センター
- 病床数：一般病床588 精神病床30
- 医師数：常勤258名、非常勤218名
- 研修指導医数：135名（臨床経験7年以上で、指導医講習会を受講済みの者）
- 1日平均外来患者数：1,011名
- 1日平均入院患者数：470名

研修・認定施設一覧

日本内科学会認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本感染症学会認定研修施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本麻酔科学会認定病院、日本泌尿

器科学会専門医教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、など

（当院標榜診療科に関連するほぼ全ての学会において研修施設等の認定を受けています。）



病院長からの メッセージ

三股 浩光

大分大学医学部附属病院長の三股浩光です。

本院は2021年10月に開院40周年を迎えます。現在の病床数は618床で、高度救命救急センターや認知症先端医療推進センター、臨床工医学センター、先端分子イメージングセンター等、様々な組織が作られています。さらに昨年、再整備事業が完成し、病棟や外来棟は広々とし、職員や患者のアメニティーの向上も図っています。本院の強みである低侵襲で高度な先端医療を推進すべく、手術室を15室に増やし、腹腔鏡手術専用室やハイブリッド手術室を設けており、ロボット支援手術や血管内治療、さらに人工知能技術を活用した新たな治療法の開発に取り組める環境になっています。また、認知症先端医療推進センターでは、地域住民や行政の協力のもとに、PET-CTを駆使した認知症の早期診断法や治療薬の開発を進めており、地域に密着した先端医療を展開しています。高度救命救急センターでは、ドクターヘリが運用されており、大分県のほとんど全域から約30分で緊急患者を搬送できる態勢になっています。

本院の初期臨床研修プログラムは多様性と柔軟性に富んでいます。大学病院では重症患者や難治疾患の診療や高度な先端医療を学べますし、市中病院では最長12か月の研修を選択でき、多数のcommon diseasesを経験できます。領域別研修を希望する場合は、外科専攻、小児科、産婦人科の重点研修プログラムがあり、救急研修を重点的に学びたい場合は、大学での高度救命救急センターとともに関連病院の救急研修を選択できます。また初期研修2年目の本院での研修診療科は変更可能ですので、自分の進みたい診療科に変更して、専門研修プログラムにスムーズに移行することができます。さらに本院では、初期研修の段階から大学院博士課程に進学することも可能ですし、初期研修医が国際会議へ参加しやすいよう、海外留学支援制度を設けています。将来、研究者の道を目指している方には、早くから研究生活や国内外の学会に積極的に参加して頂きたいと思います。

本院の研修プログラムで、へき地のプライマリケアから大学病院の高度先端医療まで、母校あるいは古里の大分県で学び、国際的視野を持った医師を目指して頑張りましょう。



研修医からの メッセージ

横山 直樹

初めまして。私は大分大学医学部附属病院、初期研修医の横山直樹と申します。現在、大学病院で1年以上研修を行っています。大学での初期研修は本当に充実していて、沢山の魅力がありますので、皆さんにご紹介できればと思います。

まず、なんといっても施設としての規模が大きく、医師数が多いことが挙げられます。最新鋭の設備での検査や、複雑な処置・手技、重症患者の治療など、設備とスタッフが揃った大学病院でしか出来ない経験が多くあります。

また、各専門科の中でもそれぞれの医師毎に得意な分野があるので、自分が興味を持った疾患や治療があれば、それぞれの上級医に質問をすることで、納得いくまで徹底的に学ぶことが出来ます。トップジャーナルに採択されるレベルの先生方から直接指導してもらえる環境は本当に魅力的です。

その他にも、24時間使えるスキルスラボがあったり、24時間相談に応じてくださる、研修医の頼れるアニキ的存在の水上先生がいたり、研修特典は豊富です。今年からは、メンター制度も始まり、ますます充実する大学病院で皆さんと共に診療できることを楽しみにしています。



研修プログラムの特徴

選択科が最大12か月間と自由度が高く、大学病院以外に約60の協力病院で研修することが可能である。大学病院では1例1例の十分な症例検討から得られる最新の臨床能力（日常診療の中で希少疾患を疑う能力）を習得することができ、協力病院では多くのcommon diseaseを経験することができる。2年間を通して、大学病院と市中病院のメリットを享受できるプログラムになっている。

また、2年間の初期臨床研修終了後、各基本領域の専門研修プログラムに応募し、当院および学外の研修病院などで卒業臨床研修から一貫した研修を受けることが可能である。

研修スケジュール

医師臨床研修プログラム（外科系重点コース含む）

1年次	内科（24週）	救急（12週） 4週まで麻酔科可	外科（4週）	小児科（4週）	産婦人科（4週）	精神科（4週）
2年次	地域医療（4週）	選択科目（48週）				

1年目ローテ順不同、2年目ローテ順不同、地域医療は2年目で研修。（ ）は週数

小児科重点研修プログラム

産婦人科重点研修プログラム

※各プログラムともに一般外来研修4週以上を含む。

※2年間のうち52週以上は基幹型病院（大分大学医学部附属病院）で研修しなければならない。

■ 研修協力病院・研修協力施設

大分県立病院、新別府病院、別府医療センター、大分県厚生連鶴見病院、アルメイダ病院、大分赤十字病院、大分医療センター、南海医療センター、大分県済生会日田病院、中津市民病院、豊後大野市民病院、大分岡病院、ほか約50施設

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：非常勤
- 基本給：1年次：310,000円程度
2年次：310,000円程度
※上記に時間外・休日・当直手当は含まない
- 賞与：なし
- 基本的な勤務時間：8時30分～17時15分（休憩時間：12時～13時）
- 休暇：年次有給休暇11日、特別有給休暇10日（夏季休暇5日、病気休暇5日）
- 宿日直：1回/月。ただし、希望者は月2回～4回（上限）まで可能。
原則、翌勤務日は振替休日。
- 出張：学会、研究会への参加可（旅費支給は各診療科の定めによる）
- 加入保険：健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険：病院として加入。個人は任意。
- 手当：超過勤務手当、住居手当（上限28,000円）、通勤手当
- 保育所の有無：あり（病児保育室）

募集要項

- 募集定員：48名
- 応募資格：マッチングに参加し、医師国家試験を受験する者
- 募集期間：6～7月予定（決定次第、当院ホームページなどに掲載）
- 必要書類：願書、履歴書、成績証明書
- 選考方法：書類審査、面接

資料請求または応募連絡先

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地
大分大学医学部附属病院 卒業臨床研修センター

■ TEL：097-586-5205 ■ FAX：097-586-5206

■ E-Mail：sotugo@oita-u.ac.jp

■ URL：http://www.med.oita-u.ac.jp/sotugo/



内視鏡の手術風景。指導医が丁寧に指導してくれます。



研修医セミナーでのワンシーン。知識修得と手技修練の二刀流！



研修医室の様子。研修医同士で教えあひながら日々頑張っています。



大分県立病院

所在地 | 大分市豊饒二丁目8番1号

病院長 | 佐藤 昌司

病院の概要

- 開 設 者：大分県知事
- 開設年月日：明治13年3月1日
- 診 療 科 目：循環器内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、腎臓内科、膠原病・リウマチ内科、呼吸器内科、呼吸器腫瘍内科、血液内科、神経内科、精神科、小児科、新生児科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、放射線科、救急科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科

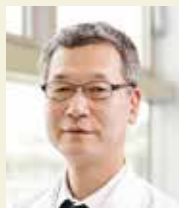
- 病床数：一般566床、感染症12床、精神36床
- 医師数：常勤101名、非常勤79名
- 研修指導医数：55名
- 1日平均外来患者数：887.8名
- 1日平均入院患者数：415.5名

研修・認定施設一覧

日本内科学会認定医制度教育病院、日本IVR学会専門医修練施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本感染症学会認定研修施設、日本核医学会専門医教育病院、日本肝臓学会認定施設、日本血液学会認定血液研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本小

児科学会専門医研修施設、日本脳卒中学会認定教育病院、日本病理学会病理専門医制度研修認定病院B、日本麻酔科学会認定病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本救急医学会認定救急科専門医指定施設、

日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本周産期・新生児医学会専門医制度暫定研修施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設 など



病院長からのメッセージ

佐藤 昌司

大分県立病院は、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、循環器センター、地域がん拠点病院、小児救急拠点病院の機能を備え、さらに、災害や1類感染症にも対応する基幹病院です。毎年、1年次、2年次基幹型と協力型を合わせると30人を超える研修医の先生方を指導しています。最もよく聞かれる声は「大分県立病院はありふれた疾患から高度医療を要するまれな疾患までとにかく幅広く経験できる病院」というものです。そして「救急の場面でも可能な限り研修医がファーストタッチを経験できる病院」さらに、「各診療科同士の垣根が低く、診療科同士のコンサルテーションがし易い病院」という声もよく聞かれます。

2020年度からスタートした臨床研修制度では、これまでの内科、救急、地域医療に加え、外科、小児科、産婦人科、精神科が必修化され、一般外来も必要となりました。当院では、新たに必修化されたこれらの研修について、十分に対応できるので、心配無用です。なお、大分県で初めて精神救急を担う精神医療センターを令和2年10月から開所しています。

また、当院では、いろいろな基本的な手技研修には、現場で経験する前のトレーニングに必要なシミュレーターやトレーナーを備えたり、さらには医療情報収集用に研修医一人一人へパソコン端末を配備するなどの環境整備にも努めています。加えて、プレゼンテーション力養成のための症例発表、経験症例の退院サマリー作成や院内誌への論文投稿などの経験も積んでいける環境を作っています。

大分県立病院で医師としての研修第一歩を踏み出してみませんか。きっと後悔しない研修ができると思いますよ。



研修医からのメッセージ

梶原 大輝

大分県立病院 研修医長の梶原大輝です。

当院は病床数614床、33の診療科を有する大分県の基幹病院です。

また、基幹災害拠点病院、小児救急拠点病院・第一種感染症指定医療機関等の役割を担っており、大分県の医療を守る最後の砦として日夜診療を行っています。

当院の臨床研修病院としての特色は、診療科が豊富で研修医ひとりひとりの希望に応じた研修が可能であること、commonな疾患から高度な医療を必要とする疾患まで、幅広い症例を経験できること、多数の同期・先輩研修医とともに研鑽を積むことができること、研修環境・設備が充実していることなどが挙げられます。

33の診療科に加えて、当院はそれぞれの機能に特化した5つの診療センター（救命救急センター・周産期医療センター・精神医療センター・循環器センター・がんセンター）を有しており、大分県の周産期医療や精神科救急医療等の拠点となっています。産婦人科・新生児科・小児科・精神科その他を志望の方にとって特に充実した研修を行える環境です。複数の診療科での研修の中で進路を検討していくことが可能ですので、志望科が未定の方にとって有意義な2年間になると考えます。

現在、当院の研修医は1年次・2年次合わせて35名おり、日常業務の中での相談や協働を通じて、時には趣味の時間も共有しながら医師としての実力や人格を涵養することができます。

大分県の中核病院で県民の医療を守りながら充実の研修生活を送りませんか。

大分県立病院でお待ちしております。

研修プログラムの特徴

以下に対処できる医者を養成する。

- ・頻度の高い疾病や外傷の診断と治療ができる
- ・救急の初期診断ができる
- ・適切な時期及び方法で、他科又は上級医に紹介できる
- ・医療情報、診断内容を正しく記録する習慣を身につけ、正確に伝達できる
- ・チーム医療を理解し、実践できる
- ・患者およびその家族と信頼関係を構築でき、診断・治療に必要な情報が得られると共に、診断結果、治療方法等相手の求める情報を正しく伝えるような医療面接を実施出来る
- ・疾病の予防、健康管理、リハビリテーションについて理解し、基本的医療計画を立てることができる

研修スケジュール

月	4月※8	5月～10月		11月	12月	1月	2月～3月
1年次	オリエンテーション 2週間	内 科 必修24週(3診療科×8週)※1,3		外 科 4週または 8週※2,3	産婦人科 4週または 8週※3	小児科 4週または 8週※3,5	救急科 必修12週の うち8週※3,4
月	4～5月		6月	7月	8～3月		
2年次	選択科		精神科 必修4週※6	地域医療 必修4週※6,7	選 択 科		

- ※1 内科は循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓膠原病リウマチ内科、内分泌・代謝内科、神経内科、血液内科から3科選択。
- ※2 外科は、消化器外科、呼吸器外科、心血管外科から選択。
- ※3 必修科(内科、外科、産婦人科、小児科、救急科)のローテーション順は1例です。
外科、産婦人科、小児科は**必修4週(または8週)**
- ※4 救急科は1年次後半または2年次前半にローテーションします。
必修12週のうち、8週はブロック研修を行い、残り4週は2年次に救急当直25回を行うことにより充当します。

- ※5 一部一般外来研修を含みます。
- ※6 精神科、地域医療は2年次に行いますが、ローテ月は変動します。
- ※7 地域医療研修時は一般外来研修、在宅医療研修を含みます。
- ※8 オリエンテーション期間(1～2週間)は研修期間に含まれないため、4月後半は5月に研修を実施する診療科で研修を行います。
- ※ 研修を実施する診療科については月単位での異動とします。

■研修協力病院・研修協力施設

大分大学医学部附属病院、大分県東部保健所、大分県中部保健所、介護老人保健施設 健寿荘、中津市国民健康保険山移診療所、中津市国民健康保険槻木診療所、佐伯市国民健康保険因尾診療所、佐伯市国民健康保険丹賀診療所、姫島村国民健康保険診療所、大分ゆふみ病院、豊後大野市民病院、鶴見台病院、国東市民病院、佐賀関病院、大分三愛メディカルセンター、大分記念病院、よつばファミリークリニック

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：非常勤
- 基 本 給：1年次 月額 310,000円程度
2年次 月額 320,000円程度
※上記のほか、当直手当、時間外手当を支給
※諸手当込みで月額400,000円～450,000円程度支給
※このほか、期末手当を6月、12月に基本給1.3月分ずつ付与
- 基本的な勤務時間：8：30～17：00(休憩12：00～13：30)
- 休 暇：有給休暇 1年次10日、2年次11日
夏季休暇3日、その他労働基準法に定める休暇
- 宿 日 直：月4回程度
- 出 張：学会等への参加は、予算および日程の都合のつく限り可能
- 加入保険：健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険：病院は病院賠償責任保険に加入。個人は任意。
- 宿舍または住居手当：敷地内医師・看護師宿舍または近隣借り上げ住宅にて対応。
家賃11,900円～13,700円程度。住居手当はなし。
- 保育所の有無：有り

募集要項

- 募集定員：14名
- 応募資格：当該年度医師国家試験受験予定者
- 募集期間：7月中旬～8月下旬
- 必要書類：願書、履歴書、成績証明書、卒業(見込)証明書
- 選考方法：面接

資料請求または応募連絡先

〒870-0855 大分市豊饒二丁目8番1号
大分県立病院 教育研修センター

■TEL: 097-546-7454 ■FAX: 097-546-0725

■E-Mail: kensyu-center@oitapref-hosp.jp

■URL: http://hospital.pref.oita.jp/



優しい指導医に囲まれて安心して研修に取り組みます。



研修医室の様子



手術風景



周産期センター(NICU)



外科勉強会の様子。熱心かつ丁寧に指導してくれます。



大分赤十字病院

所在地 | 大分市千代町3丁目2番37号

病院長 | 福澤 謙吾

病院の概要

- 開設者：日本赤十字社社長 大塚 義治
- 開設年月日：昭和27年4月1日
- 診療科目：救急科、総合診療科、内分泌・糖尿病内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓・胆のう・膵臓内科、循環器内科、リウマチ科、腎臓内科、外科、消化器外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、脳神経内科、皮膚科、腎・泌尿器外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、形成外科

- 病床数：340床（一般）
- 医師数：常勤85名、非常勤31名
- 研修指導医数：22名
- 1日平均外来患者数：479名（2020年度）
- 1日平均入院患者数：251名（2020年度）

研修・認定施設一覧

日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本糖尿病学会認定教育施設、日本呼吸器学会認定臨床研修施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本消化器学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本肝臓学会認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本腎臓学会認定研修施設、日本リウマチ学会認定教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、食道外科専門医準認定施設、日本消化器外科学会専門

医修練施設、日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設、日本呼吸器外科学会専門医関連施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本肝胆膵外科学会高度技能医制度修練施設A、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本透析医学会専門医認定施設、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医基幹教育施設、日本泌尿器内視鏡学会泌尿器科腹腔鏡技術認定研修施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日

本病理学会登録施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本口腔外科学会認定医制度専門医・指導医研修施設、日本口腔外科学会関連研修施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設、日本消化管学会胃腸科指導施設、日本口腔ケア学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設、日本胆道学会認定指導施設、日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設群、日本神経学会教育関連施設、日本臨床細胞学会認定施設



病院長からのメッセージ

福澤 謙吾

当院は、大分市中心部に位置する340床の急性期医療の基幹病院です。

これまで多くの研修医の諸君と接してきました。毎年感じることとして正にゼロからの出発であった研修医の皆さんが2年間の研修期間を経て、成長し生き生きと自信をもって仕事をしている姿をみることはとても頼もしく嬉しいものです。

研修医は指導医から教えられるだけではなく、先輩や同期の研修医からもどんどん吸収し伸びていきます。一方向からの指導で得られるものは非効率でありインタラクティブな教育環境が必要です。中規模病院のメリットとしては大病院に比べ各診療科の垣根が低く診療科を超えたコンサルトや指導が受けやすい点があります。当院は研修医を含めて80数名の程よい医師数ですので、全員の専門分野と顔が分かり、気軽に質問が出来る雰囲気にも魅力ですし、研修医が担当できる十分な症例数もあります。各種テーマを決めた勉強会や救急症例を共有する為の勉強会なども定期的に開催されており、学ぶ環境は整っています。

初期研修の2年間は、医師として羽ばたいていく上でとても大切な時期です。熱い気持ちを持って、研修に来ていただければそれに応えてくれる上級医と医療スタッフがお迎え致します。

皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



研修医からのメッセージ

安藤 誠

初期研修医の安藤です。研修医生活は2年目になりましたが、毎日新しい学びに溢れる充実した日々を過ごしています。

当院は大分市中心部の急性期病院であり、内系・外科系とも多くの診療科、症例が充実しています。研修医の数は1、2年目合わせても十名程なので、どの科でも高密度で症例や手技が経験でき、研修医が積極的に診療に参加できます。ただ見ていただだけの学生時代とは違い、自らの手で医療を提供する責任の重さと難しさを毎日肌で感じています。

当院の当直では月4回程度、研修医1名と上級医2名で救急外来対応を行います。当直シフトは研修医で決めるので、個人の予定も調整しやすいです。基本的に救急外来でのファーストタッチは研修医が行い、問診や身体所見を自分でき、必要な検査や処置を考えて実践しています。上級医の先生とご相談しながらバックアップしていただい、実践を通して救急診療を学ぶ、最適な環境です。当院は2次救急病院で、重症から軽症まで幅広い救急症例を経験します。当院での日当直の積み重ねは、どんな環境でも通用する救急対応力に結びつくと感じます。

私はもうすぐ2年間の初期研修を終えますが、当院で学んだ日々は、今後の自分の医師生活にかけがえのない財産を与えていただいていると感じています。この場では伝えきれない魅力が当院にはたくさんあるので、ぜひ一度病院見学にお越しください。

研修プログラムの特徴

指導医が「臨床に対する熱い思い」をマンツーマン方式で伝えられるようにカリキュラムの充実を図り、「当院で研修を受けたい、当院で働きたい」という病院本来の目標に沿うようにハード・ソフト両面からの体制づくりを進めている。医師としてのプロフェッショナルリティを養い、通常遭遇する疾患群に的確に対応できる医療能力を身につけることができます。また、勉強会も盛んで、月2回程度の座学に加え、ミニレクチャーや、当直時に困ったり、勉強になった症例を研修医が発表する救急症例検討会を行い臨床力向上に努めています。

研修スケジュール

1年次	内科（24週）	救急（8週）	外科（4週）	小児科（4週）	産婦人科（4週）	精神科（4週）
2年次	地域医療（4週）	選択科（将来専門とする診療科を中心に関連の専門科での研修）				

※科目の順番は希望により変更可

※救急は、8週その他、2年間で月2回程度の救急当直を行うことで合計12週とみなす

※救急は麻酔科での研修を含む

※一般外来は平行研修（4週）とする

■ 研修協力病院・研修協力施設

国立病院機構別府医療センター、大分県立病院、臼杵市医師会立コスモス病院、津久見市医師会立津久見中央病院、お元気でクリニックこれいし、小清水赤十字病院、大分県赤十字血液センター、大分大学医学部附属病院、大分こども病院、帆秋病院、大分記念病院

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤嘱託職員
- 基 本 給：1年次：月額360,000円（諸手当込465,000円程度）
2年次：月額370,000円（諸手当込485,000円程度）
- 賞 与：無し
- 基本的な勤務時間：8：30～17：10（1週間の勤務時間38時間45分）
- 休 暇：土・日・国民の祝日、夏季休暇（3日）、年末年始休暇（6日）、日赤創立記念日（5月1日）
- 宿 日 直：4回／月まで ※宿直明けは帰宅可
- 出 張：学会、研究会等への参加可（旅費支給など）
- 加入保険：健康保険、厚生年金、雇用保険加入
- 医師賠償責任保険：病院において加入、個人加入は任意
- 宿舍または住居手当：宿舍無し。住宅手当支給有り（上限28,500円）
- 保育所の有無：有り

募集要項

- 募集定員：5名（予定）
- 応募資格：医師国家試験合格予定者
- 募集期間：7月～9月予定（決定次第、当院ホームページなどに掲載）
- 必要書類：履歴書、成績証明書、卒業見込証明書、健康診断書
- 選考方法：書類審査・面接

資料請求または応募連絡先

〒870-0033 大分市千代町3丁目2番37号
大分赤十字病院 総務課

■ TEL: 097-532-6181 ■ FAX: 097-533-1207

■ E-Mail: jinji-kyu@oita-rc-hp.jp

■ URL: <http://www.oitasekijyuji.jp/>



不安要素を軽減するための研修会も充実



研修医勉強会を開催（月2回程度）



放射線科での読影風景。指導医が丁寧に指導



大分市医師会立 アルメイダ病院

所在地 | 大分市大字宮崎 1509-2

総院長 | 山本 貴弘

病院の概要

- 開設者：一般社団法人 大分市医師会
- 開設年月日：昭和44年4月1日
- 診療科目：内科、内分泌内科、血液内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、放射線科、外科、消化器外科、血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、小児科、新生児内科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、精神科、眼科、耳鼻いんこう科
- 病床数：406床
- 医師数：常勤70名、非常勤15名
- 研修指導医数：20名
- 1日平均外来患者数：140名
- 1日平均入院患者数：302名

研修・認定施設一覧

- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本脳神経外科学会専門医訓練施設
- 日本循環器学会循環器専門医研修施設
- 日本外傷学会外傷専門医研修施設
- 日本脳卒中学会研修教育病院
- 三学会構成心臓血管外科専門医関連施設
- 日本消化器病学会関連施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰ
- 日本泌尿器科学会専門医拠点教育施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医訓練機関
- 日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設
- 日本内科学会教育関連病院
- 日本小児科学会専門医研修施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本血液学会研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本皮膚科学会専門医研修施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設



総院長からの メッセージ

山本 貴弘

新医師臨床研修制度に先立って行われた日本医師会が提唱する卒後臨床研修「地域施設群研修方式」モデル事業に参加し、その検証結果と7年にわたる協力型臨床研修病院としての経験に基づいて研修プログラムを作成しました。若い医師に入っていただくことはそれだけで病院が活性化し、教えることにより指導医自身も学べる医師臨床研修に大いに期待を寄せています。医師会立病院の特色を生かしながら、ご参加いただいた病院群の皆様と一緒に効果的且つ魅力的な研修により「次世代を担う医師」を育てて参りたいと思います。医学生諸氏のご応募をお待ちしております。



研修医からの メッセージ

研修の特徴としては、次の点が挙げられると思います。

(1) 研修内容の充実

研修医一人あたりの症例数が充実しており、手技や病態の理解といった経験という面だけでなく基幹型臨床研修病院としての教育体制もしっかりしており、随所における診療面でのフォローなど勉強になることが多々ありました。

(2) 働きやすい環境

医師と医師だけでなく、医師とコメディカルの間の垣根が低く、綿密な医療を実践できることは数ある魅力のうちの一つです。

(3) 救命救急センターを有する災害拠点病院

感冒や打撲といった軽症から敗血症や多発外傷といった重症まで、ER型の救急医療を実践できるだけでなく、入院から退院までの集中ケアも実践できることは醍醐味の一つです。

研修プログラムの特徴

紹介型の医師会立病院としての症例の多様性、Aランクの救命救急センターを併設し、1次救急から3次救急までを担う救急医療対応、災害拠点病院、大分県がん診療連携協力病院、県内有数の症例数を誇る内視鏡センターなど年間の外来55,000人、入院7,000人、救急搬送2,500件に及ぶ豊富な症例を短期間に経験することができます。

研修スケジュール

	4.3 週 (4月)	4.4 週 (5月)	4.3 週 (6月)	4.4 週 (7月)	4.4 週 (8月)	4.3 週 (9月)	4.4 週 (10月)	4.3 週 (11月)	4.4 週 (12月)	4.4 週 (1月)	4.0 週 (2月)	4.4 週 (3月)
1 年次	内科 (一般外来の並行研修を含む)						救急部門			外科	選択必修科目 (外科、麻酔科)	
2 年次	小児科	産婦人科	選択科目				地域医療	精神科	選択科目			

※必修科目の外科および選択必修科目の外科は消化器外科または呼吸器外科より選択。

■ 研修協力病院・研修協力施設

大分健生病院、竹田診療所、けんせいホームケアクリニック、衛藤病院、帆秋病院、大分大学医学部附属病院、いしい産婦人科醫院

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤
- 基 本 給：1 年次：403,000円
2 年次：409,000円
※上記に時間外・休日・当直手当は含まない
- 賞 与：無し
- 基本的な勤務時間：8：30～17：15（休憩12：00～13：00）
- 休 暇：有給休暇 1 年次10日、2 年次11日
夏季休暇 3 日（7 月 1 日～9 月 30 日の間）
年末年始 5 日（12 月 30 日～1 月 3 日）
その他 週休 2 日、開院記念日（4 月 1 日）、盆休（8 月 14 日）
- 宿 日 直：1・2 年次とも 5 回／月まで
- 出 張：学会、研究会等への参加可（参加費用10万円／年まで支給有り）
- 加入保険：社会保険、厚生年金、労働保険、雇用保険有り
- 医師賠償責任保険：病院において加入（個人加入は任意）
- 宿舍または住居手当：単身用 4 戸（自己負担30,000円、水道・光熱費等別）
- 保育所の有無：有り



救命救急センター



入職初日のワンシーン

募集要項

- 募集定員：5 名
- 応募資格：医師国家試験合格予定者、マッチングプログラム参加者
- 募集期間：5 月 1 日～随時受付（8 月中旬選考）
- 必要書類：履歴書、成績証明書、健康診断書
- 選考方法：面接、小論文（事前提出）

資料請求または応募連絡先

〒870-1195 大分市大字宮崎1509-2

大分市医師会立アルメイダ病院 総務課 安東 尚礼

■ TEL：097-569-3121 ■ FAX：097-568-0743

■ E-Mail：soulmuka@almeida.oita.med.or.jp

■ URL：http://www.almeida-hospital.com/





独立行政法人国立病院機構 大分医療センター

所在地 | 大分市横田2丁目11番45号

病院長 | 奈須 伸吉

病院の概要

- 開設者：独立行政法人国立病院機構
- 開設年月日：2004年4月1日
- 診療科目：糖尿病・代謝・内分泌内科、呼吸器内科、膠原病内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、呼吸器外科、乳腺外科、病理診断科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、婦人科、腎臓内科、腫瘍内科
- 病床数：300床（休床15床）
- 医師数：常勤41名、研修医3名
- 研修指導医数：17名
- 1日平均外来患者数：238.3名
- 1日平均入院患者数：172.8名

研修・認定施設一覧

- 日本内科学会 認定医制度教育関連病院
- 日本消化器内視鏡学会 専門医制度指導施設
- 日本循環器学会 専門医研修施設
- 日本循環器学会 不整脈研修施設
- 日本心血管インターベンション学会 研修関連施設
- 日本外科学会 専門医制度修練施設
- 日本胸部外科学会 認定制度関連施設
- 日本消化器外科学会 認定医制度教育関連病院
- 日本消化器外科学会 専門医修練施設
- 日本乳癌学会 専門医制度関連施設
- 日本整形外科学会 専門医制度研修施設
- 日本呼吸器外科学会 専門医制度関連施設
- 日本呼吸器学会 専門医制度認定施設
- 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医関連認定施設
- 日本泌尿器科学会 専門医教育施設
- 日本透析医学会 専門医教育関連施設
- 日本医学放射線学会 専門医修練協力機関
- 日本麻酔科学会 研修施設認定病院
- 日本病理学会 専門医研修登録施設

病院の特色

当院は、昭和54年4月に開院、国立病院としては専門医療施設に位置づけられていたため、診療各科の連携による「専門医的」総合病院として診療の充実を図ってきました。

政策医療としてのがん、肝疾患診療を中心とした診療・臨床研究・教育研修を一層推進しています。

特色として

- ① がん、悪性新生物治療に対し、集学的治療を行っています。

- ② 診療部門をセンター化し、より機能的、効率的な診断、治療を行っています。
- ③ クリティカルパスを全診療科に有し、効率的な医療を行っています。
- ④ 救急医療に積極的に取り組み、2000年4月1日より大分市二次救急医療固定輪番制（365日24時間体制）の指定を受けています。



病院長からの メッセージ

奈須 伸吉

大分医療センターは大分市横田（大在地区）にあり、大分県東部地域を支える285床の中核医療機関です。当院の診療科は17科ですが、そのうち常勤医のいる診療科は、糖尿病・代謝・内分泌内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、呼吸器外科、病理診断科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、婦人科の12診療科です。1診療科当たりの病床数が多いので、臨床研修医にとっては、限られた期間で数

多くの症例を学ぶことが出来ます。また、救急診療については、救急車搬送台数は年1200台あり種々の救急疾患を指導医のもとで学ぶ機会が多いです。当院には臨床研修指導医17名を始め、各診療科には専門医が揃っており、臨床研修医には家庭的なぬくもりのある丁寧な指導を心がけています。当院には、精神科、小児科、産科や救急診療部などは有りませんし、大分市の中心部の病院ほど交通の便が良いわけではありません。しかし、過去に当院で学んだ臨床研修医からは、とても中身の濃い研修が出来たとの声がたくさん聞かれます。当院は“来てみればとても良かったと満足していただける臨床研修病院”です。特に1年間のたすき掛け臨床研修は自信を持ってお勧めできます。大分医療センターと一緒に学びましょう。

研修プログラムの特徴

研修医受け入れ診療科の説明及び指導体制

- ・1年目必修科目受け入れ診療科の説明及び指導体制
 - 糖尿病・代謝・内分泌内科：内科医として必要な診断技術と治療法を身に付ける。更に、頻度の多い代謝・内分泌疾患の診断と初期治療法の修得。
 - 呼吸器内科：呼吸器疾患に対し、適切な初期対応ができるよう、基本的診断能力を身に付ける。
 - 消化器内科：内視鏡部門、肝疾患部門、消化器病部門を中心とした疾患で病態の把握、治療手技に結びつく検査の意義と方法を知り、診断及び適切な治療方針が立てられること。基本的疾患については、検査・診断・治療を担当する。
 - 循環器内科：疾患に応じた的確な病歴聴取。基本的診察手技の習得。循環器検査・処置の習熟。
 - 救急部門：①救急外来までの研修により、気管確保、気管内挿管等の呼吸管理の方法を習得する。

②救急蘇生法の理解を深め、蘇生法の指導が出来るようにする。

③HCUの管理方法を習得する。

- 外科：基本的な外科処置。基本的な外科知識。手術適応の判断。
- 麻酔科：麻酔という特殊な状況下での患者の全身管理の修得。麻酔管理をとおしての患者急変時に役立つスキルの修得。患者の痛みを和らげる方法の修得。救急蘇生法について理解を深め、蘇生法の指導ができるようにすること。
- 小児科、産婦人科、精神科は別府医療センターで研修する。
- ・2年目選択科目受け入れ診療科の説明及び指導体制
 - 代謝・内分泌内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、麻酔科は上記内容と同一。
 - 整形外科：基本的な整形外科の診察法、検査法、画像診断、治療の修得。
 - 泌尿器科：手術・腰椎麻酔を中心に、外来診察と内視鏡検査や、血液透析・腹膜透析の導入・管理、病棟での尿路管理などの修得。
 - 放射線科：放射線診断（核医学含む）、放射線腫瘍学（放射線治療）
 - 地域医療は、佐賀関病院で研修する。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	糖尿病・代謝・内分泌内科	麻酔科	消化器内科・一般外来		循環器内科・一般外来		小児科	産婦人科	精神科	外科	呼吸器内科・一般外来	
2年次	地域医療						選択科目					

※プログラムの1例です。

■研修協力病院・研修協力施設

NHO別府医療センター、佐賀関病院

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：2年契約による非常勤臨床研修医
- 基本給：1年次：月額338,800円
2年次：月額367,100円
※上記に時間外・休日・当直手当は含まず
- 賞与：あり
- 基本的な勤務時間：週35時間
- 休暇：1年間に20日
- 宿日直：研修医当直として月に平日4回、休日1回程度
- 出張：学会出張あり
- 加入保険：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働災害
- 医師賠償責任保険：任意加入
- 宿舍または住居手当：無
- 保育所の有無：有



手術室



救急受入

募集要項

- 募集定員：2名
- 応募資格：2023年度医師免許取得見込みの者
- 募集期間：随時受付
- 必要書類：①履歴書（市販のもので可、要写真貼付）、②卒業見込証明書、③健康診断書（指定用紙）
- 選考方法：面接

資料請求または応募連絡先

〒870-0263 大分市横田2丁目11番45号
国立病院機構大分医療センター 管理課 給与係長

■TEL: 097-593-1111 ■FAX: 097-593-3106

■E-Mail: 617sy01@mail.hosp.go.jp

■URL: <https://oita.hosp.go.jp/>





社会医療法人敬和会 大分岡病院

所在地 | 大分市西鶴崎 3-7-11

病院長 | 古川 雅英

病院の概要

- 開設者：岡 敬二
- 開設年月日：昭和29年5月22日
- 診療科目：心臓血管外科、循環器内科、救急科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、内科、消化器内科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、胸部外科、神経内科、腎臓内科、糖尿病内科、呼吸器内科、腫瘍内科、血液内科、皮膚科、リハビリテーション科、歯科・歯科口腔外科、矯正歯科など28科
- 病床数：224床
- 医師数：常勤31名、非常勤42名
- 研修指導医数：20名
- 1日平均外来患者数：195.8名
- 1日平均入院患者数：163.4名

研修・認定施設一覧

- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本内科学会教育関連病院
- 日本外科学会専門医制度修練施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 心臓血管外科専門医認定基幹施設
- 日本形成外科学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- 日本口腔外科学会専門医制度指定研修機関
- 日本消化器外科学会修練関連施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本脈管学会認定研修施設
- 腹部ステントグラフト実施施設
- 日本消化管学会胃腸科指導施設 等



病院長からの メッセージ

古川 雅英

大分岡病院は、病床数224床の二次救急指定病院で、地域医療支援病院です。年間約2,000台を超える救急車を受け入れ、約290の医療機関と地域医療連携を図り紹介患者さんを中心に診療しています。当院のミッション（使命）は、「国際標準の医療を卓越したチームで提供し、患者さん一人ひとりの健康寿命を延ばすことに貢献する」ことであり、ビジョン（方針）として、1.安全で、信頼される救急医療・急性期医療を、誇りを持って提供します、2.優れた医療人を育成します、3.急性期病院として医療・介護・保健・福祉と良好な連携を構築します、の3つを掲げています。

「優れた医療人の育成」の一貫として、すべての職種に關して実習を受け入れています。特に臨床研修医の育成には病院を挙げて取り組んでおり、2021年度は1年目6名（大分大学医学部協力型研修も含む）、2年目5名の合計11名の臨床研修医が日々研鑽しています。

当院の初期臨床研修の特徴は、救急医療、急性期医療において豊富な経験を積むことができることです。外傷を含む外科的救急のみならず、内科的救急の患者も多く受診され、救急科の研修のみでなく、内科、外科等の研修でも救急医療に携わることができ、臨床診断能力、初期対応能力、一般的な治療技術を磨くことができます。さらに、研修する診療科によっては専門的な診断と治療まで研修可能です。また、多職種で協働するチーム医療の一員として研修ができます。「心血管センター」、「消化器センター」、「創傷ケアセンター」のように複数のセンターがあり、複数診療科の医師と多職種による優れたチーム医療を実践しています。メディカルスタッフも研修にとっても協力的で、専門資格取得、学会発表、学会・研究会参加等も積極的に支援しています。

当院では職員のワークライフバランスを充実させることで、男女問わず、医師にとっても働きやすい職場環境の整備を進めています。初期臨床研修先の選択は、医師としての長いキャリアを始めるうえで重要な第一歩です。当院は、職員全員で皆様の初期臨床研修が充実したものとなるように支援いたします。



研修医からの メッセージ

臨床研修医 1年目
田村 尚輝

大分岡病院で研修が始まり約4ヵ月が経過しました。何もわからない状態からのスタートでしたが、オーダーの仕方や薬の選択など、どんな些細な事でも指導医の先生方だけでなく看護師さんやその他スタッフの方々から優しく教えていただきながら楽しく研修生活を送っています。現在は外科研修中で、助手として手術に参加したり、病棟では周術期の管理をしたり、時には中心静脈カテーテル挿入などを行ったりと多くの経験をさせていただいています。1年後、一緒に研修できることを楽しみにしています。



研修医からの メッセージ

臨床研修医 2年目
板東 翔

大分岡病院での1年間研修を終えて感じる自身の成長・変化は、患者さんに対する向き合い方が1番変化したかもしれません。学生の頃は患者さんよりも疾患について学ぶ機会が多く、研修医になり同じ疾患でも各々の患者さんによって治療方針などが異なることを改めて実感し、患者さんのバックグラウンドなど色んな事を考え、治療にあたる姿勢を学ぶことができました。2年目は少しでも自分のできる事を増やしていきたいと考えており、自分で評価し、治療方針を組み立てられる研修医になりたいと思っています。大分岡病院は指導医もそうですが、スタッフも非常に優しく、色々と気にかけて教えてくれます。少しでも大分岡病院に興味のある方は是非病院見学に来てみてください。

有意義な研修を大分岡病院で！

研修プログラムの特徴

当院の初期研修の特徴は救急医療を中心としたプライマリケアを初年度で多く経験できる点である。豊富な症例を経験することができるので、十分な知識と経験を身に付けることができ、目的意識のはっきりした、やる気のある研修医ほど満足してもらえるプログラムになっている。県下でもトップクラスの救急車搬入台数であり、多くの症例にファーストタッチでき、同時に、患者さんに対しどのように対応し治療していくかを学んでいくことができる。1年目にプライマリケアに必要な知識や技能を身につけ、2年目から当直に参加していく。また、研修医のキャリアを考慮して、選択科目を自由に選択できるようにフレキシブルな対応を心がけている。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科（24週）、救急科（12週：4週まで麻酔科研修可能）、外科（4週）、小児科（4週）、産婦人科（4週）、精神科（4週）											
2年次	地域医療	研修医のキャリアを考慮した診療科目										

■ 研修協力型病院

大分大学医学部附属病院、大分リハビリテーション病院、衛藤病院、天心堂へつぎ病院、大分健生病院

■ 研修協力施設

大分赤十字病院、大分医療センター、別府医療センター、アルメイダ病院、大分こども病院、井上循環器内科クリニック、姫島村国民健康保険診療所、河野脳外科病院、在宅支援クリニックすばる、大分豊寿苑、佐伯保養院、佐賀関病院、坂ノ市病院、いしい産婦人科醫院、竹田診療所、けんせいホームケアクリニック

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤
- 基本給：1年次：545,000円（学会参加費、出張旅費、必要書籍代含む）
2年次：580,000円（学会参加費、出張旅費、必要書籍代含む）
※出張旅費は病院が認めたものは支給、2年次より当直手当あり
- 賞与：無し
- 基本的な勤務時間：8：30～17：30（休憩12：30～13：30）
- 有給休暇：1年間に10日
- 宿日直：1年目 日当直トレーニング 1回／週、2年目 3～5回／月
- 出張：学会への積極的な参加を奨励
- 加入保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 医師賠償責任保険：有り
- 宿舍または住居手当：有り（空きがない場合、月5万円の住宅手当支給）
- 保育所の有無：有り（院内保育施設、病児保育施設あり）

募集要項

- 募集定員：5名
- 応募資格：2022年医師国家試験受験予定者
- 募集期間：5月～8月
- 必要書類：履歴書、卒業（見込）証明書、成績証明書、健康診断書
- 選考方法：面接

資料請求または応募連絡先

〒870-0192 大分市西鶴崎3-7-11
大分岡病院 人事部 安東 玲子

■ TEL: 097-522-3131 ■ FAX: 097-522-3777

■ E-Mail: ando1901@keiwaikai.oita.jp

■ URL: 大分岡病院 [検索](#)



救急科研修



研修医室



指導医レクチャー



社会医療法人恵愛会

大分中村病院

所在地 | 大分県大分市大手町3丁目2番43号

病院長 | 七森 和久

病院の概要

- 開設者：中村 太郎
- 開設年月日：昭和41年（1966年）12月10日
- 診療科目：整形外科・脊椎外科・手外科・外科・腫瘍外科・脳神経外科・内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病内科・呼吸器内科・緩和ケア内科・形成外科・泌尿器科・リハビリテーション科・肛門外科・リウマチ科・心血管外科・産婦人科・骨盤底リハビリテーション科・眼科・放射線科・皮膚科・臨床検査科・麻酔科

- 病床数：260床
- 医師数：常勤30名、非常勤19名
- 研修指導医数：16名
- 1日平均外来患者数：238名
- 1日平均入院患者数：212名

研修・認定施設一覧

- 日本整形外科学会整形外科専門医研修施設
- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本外科学会専門医制度関連施設
- 日本脳神経外科学会専門医認定制度訓練施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本形成外科学会認定医研修施設
- 日本循環器学会専門医研修施設
- 日本呼吸器学会教育関連施設
- 日本感染症学会研修施設
- 日本消化器病学会大分大学附属病院関連施設
- 日本消化器外科学会大分大学附属病院関連施設
- 日本手外科学会専門医基幹研修施設
- 日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設



病院長からのメッセージ

七森 和久

当院は、大分市の中心部に位置し、「医療による社会貢献」を理念に掲げ、急性期医療およびcommon diseaseの医療を提供している民間病院です。

二次救急病院として、救急車による搬送は年間約1700台を核に大分県民のライフラインを支えています。年間の救急患者数は延べ3240人におよびます。救急時には、各科専門医、看護師、放射線技師、検査技師などが横断的に専門の垣根を越えてベストを尽くし、医療にあたっています。

総合リハビリテーションセンターを有し、超急性期から回復期までのシームレスな医療を提供し、近郊の医療機関と連携して「地域完結型医療」を構築しています。

また本院の関連施設である「社会福祉法人太陽の家」と連携を図り、「大分車いすマラソン」、「パラリンピック」など障がい者スポーツに協力しています。

本院は基幹型臨床研修病院として、今年度で15期生目の初期研修医を迎えました。臨床研修病院として本院オリジナルの研修内容で取り組んでいます。ぜひ一度、見学にいらして下さい。



研修医からのメッセージ

柚木 倫幸

私が大分中村病院を選んだ理由は医師として基本的な知識・技術・コミュニケーション能力をしっかりと身に付けたいと考えたからです。また、救急と外科系に強い病院で研修したいと考えていたのも理由の一つです。

各科とも毎日新たな知識・技術の経験ができ、日々成長できている実感があります。当直時は特に技術習得ができます。当直帯はwalk inも救急車も研修医がfirst touchを行います。指導医の先生が見守ってくれているので安心して救急対応ができますし、分からない事があればすぐに対応していただけます。軽症から重症まで幅広い患者さんが運ばれてくるので様々な手技を早い段階で習得することができます。また、エコーや処置・検査手順等、院内の多職種の方に教えてもらう機会も多く、恵まれた環境で研修ができています。

実践的な研修以外で勉強会も開催されており、月に一度開催される症例勉強会では研修医が発表者となります。日常で経験した症例、当直帯や救急研修日で経験した症例をその後のフォローアップ経過を含めて指導医と発表します色々な科の指導医にも参加していただけるため多面的に症例に関してアドバイスが頂け、大変勉強になります。また、症例報告形式でスライド発表を行うので今後のキャリアで必要になってくる学会発表等の訓練ができています。

当院はリハビリ部門も充実しており、整形の患者はもちろんのこと心リハやがんリハも積極的に行われており、救急車で運ばれてから社会復帰するまでを一貫して患者さんに寄り添って診ることが出来ます。

その他にも文章や写真ではお伝えすることのできない当院の良いところが沢山あります。まずは病院見学にお越しいただき当院の雰囲気を感じていただけると嬉しいです。お待ちしております。

研修プログラムの特徴

1. 当院は二次救急医療機関であり、年間約1700件の救急搬送に対応しています。救急研修は、週1回の救急研修日を設け、年間を通して行います。
2. 各科の研修に加え、「BLS」「ICLS」「エコー勉強会」「心電図勉強会」「感染症実践塾」「ERカンファレンス」などを通して基本的な知識、手技の習得を目指します。
3. 当院は救急病院ですが、リハビリテーションにも力を入れており、運動器や脳血管疾患はもちろん、心臓リハ、がんリハなどチームで取り組んでいます。院内に回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟を設け、関連施設に社会福祉法人太陽の家があり、急性期の治療から、リハビリテーション、社会復帰までの一連の過程を学ぶことが出来ます。
4. 当院で学ぶことが出来ない部分は、多くの研修協力病院・施設で研修可能です。また、大分大学医学部附属病院との「たすき掛け研修*」を行うことが出来ます。*「たすき掛け研修」とは、大分中村病院をベースに大分大学医学部附属病院で研修すること。研修期間は1～3ヶ月間。
5. 研修スケジュールの変更にも柔軟に対応します。
6. 少人数の研修であるため、様々な手技を指導医から直接教わり、多くの経験を積むことが出来ます。

研修スケジュール

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	テオリエンテーション	外来研修（平行研修）					救急研修（平行研修）					
		内科系研修 24 週以上 (各診療分野を 4 週～8 週でローテート)					麻酔科 4 週以上	外科系研修 8 週以上 (各診療分野を 4 週～8 週でローテート)		産婦人科・精神科・小児科 各 4 週以上		
月	4月	5月～3月										
2年次	救急研修（平行研修）											
	地域医療 4 週以上	選択研修 48 週 (内 12 週まで専門性を考慮し協力病院・施設での研修が可能)										

■ 研修協力病院・研修協力施設

大分こども病院、帆秋病院、ハートクリニック、大分大学医学部附属病院、大分県立病院、いしい産婦人科醫院、佐賀関病院、えとう内科病院、障害者支援施設ゆうわ、東部保健所、南部保健所

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤
- 基本給：1年次：500,040円/月
2年次：550,260円/月
※時間外手当あり・休日手当あり
- 基本的な勤務時間：8：30～17：30（24時間表記） 時間外勤務あり
- 休暇：有給休暇 ・ 1年次：10日 ・ 2年次：11日
夏季・冬季休暇、年末年始休暇、慶弔休暇
- 当直：(回数：約4回/月)
- 加入保険：健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
- 医師賠償責任保険：「病院」・「個人」ともにそれぞれ加入している
- 宿舍または住居手当：あり（単身用・世帯用）研修医は一定額のみ負担する
- 研修医室：あり

募集要項

- 募集定員：5名
- 応募資格：医師臨床研修マッチングに参加し、医師国家試験合格者および合格見込みの者
- 募集期間：随時受け付けます。応相談
- 必要書類：履歴書（顔写真添付）、採用願書・健康診断書（当院HPからダウンロード可）、卒業見込証明書
- 選考方法：面接、書類審査

資料請求または応募連絡先

〒870-0022 大分県大分市大手町3丁目2番43号
大分中村病院 総合臨床研究センター運営室 後藤

- TEL：097-536-5050(代)
- E-Mail：clinicaljim@nakamura-hosp.or.jp
- URL：http://www.nakamura-hosp.or.jp



研修もしっかりあります。



心臓カテーテル検査



整形外科の手術



独立行政法人国立病院機構 別府医療センター

所在地 | 別府市大字内電 1473

病院長 | 矢野 篤次郎

病院の概要

- 開設者：国立病院機構理事長 楠岡 英雄
- 開設年月日：2004年4月1日
- 診療科目：呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、形成外科、消化器外科、乳腺外科、食道外科、整形外科、脳神経外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、歯科口腔外科、救急科、総合診療科（内科）、麻酔科、歯科、臨床検査科
- 病床数：500床（一般460床、精神40床）
- 医師数：常勤88名、非常勤32名
- 研修指導医数：35名
- 1日平均外来患者数：516.8名
- 1日平均入院患者数：295.2名

研修・認定施設一覧

- 日本外科学会専門医制度修練施設
- 日本救急学会専門医指定施設
- 日本麻酔学会指導病院
- 日本内科学会認定内科専門医制度教育関連病院
- 日本病理学会登録施設
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本呼吸器外科学会認定制度関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本産婦人科学会認定医制度卒後研修指導施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本脳神経外科専門医訓練施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本皮膚科学会専門医研修施設
- 日本リウマチ学会認定施設
- 日本循環器病会循環器専門医研修施設
- 日本透析医学会専門医制度教育関連施設 ほか



病院長からの メッセージ

矢野 篤次郎

当院は大正14年に創設された亀川海軍病院を始まりとし、90年の歴史があります。

2008年6月に病棟、2012年11月に外来診療棟が新築され、また電子カルテ、フィルムレス化の導入も加わり、効率よく診療が出来るようになりました。

県内では3番目に「地域医療支援病院」として承認され、さらに「地域がん診療連携拠点病院」、「地域周産期母子医療センター」、「地域小児科センター」、「大分DMAT」、さらに脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病の急性期治療、肝疾患診療の医療機関としての指定を受けています。2013年秋に完成したドクターヘリ専用のヘリポートを使用しての救急患者の受け入れも行っています。

現在、33診療科、120名の医師（研修医21名）が日夜診療に勤しんでおります。また、年間2,600台を超す救急車、50回程のドクターヘリを受け入れており、救急専門医とともに多くの医師が診療にあたっています。地域の中核病院として豊富な症例を経験できる当院の研修環境は優れています。

緑に囲まれた広々とした環境に病院はあります。院内には職員のための温泉もあり、診療の疲れを癒やす事もできます。医師人生のスタートを切るに相応しい病院と自負しています。



研修医からの メッセージ

臨床研修医2年目
村上 龍之介

別府医療センター基幹型2年目研修医の村上龍之介と申します。2年間の研修生活を振り返り、大変有意義なものであったと感じております。

医師臨床研修制度の見直しに際し、2020年度から必修科は増加している中、当院では2019年から血液内科も新設され、各診療科が揃いました。400床を超えるベッド数で大分東部医療圏を広く担っており、当院のみで研修が終了できるこの研修環境は、申し分ないかと考えております。

一方で、他の臨床教育病院ではあまり見ないような自由さ、柔軟性も兼ね備えています。ローテーションの組み方もオーダーメイドであり、研修部長と相談しながら自分に最適な順序、期間が選択でき、また途中で変更することも可能です。従って自分に足りない部分や伸ばしたい部分に即し、臨機応変にサポートしてくれる体制が整っています。

また指導医からの講習会や研修医同士の勉強会なども非常に盛んで、新たな取り組みを歓迎する気風があるため、研修医必須のスキルを身に付けることはもちろん、さらにプラスαを目指せる環境にあります。かつて研修医から「エコーをもっと勉強したい」という要望が出た際は、研修部長と相談した結果、臨床研修部専用のエコーを買っていただけることとなりました。研修医の意欲が反映されやすい病院かと思います。

各地から集う仲間とともに地域中核病院として豊富な症例を経験しつつ、疲れたときは別府名物の温泉や焼き肉で疲れを癒す、そんな当院の初期臨床研修に興味を持たれた方は、是非一度見学にいらしてください。

研修プログラムの特徴

「フィードバック」

当院のシステムは基礎研修（セミナー、カルテ記載、総合診療勉強会など）とポートフォリオによる各科研修の振り返りを中心としています。漫然とした研修で終わらせないように、各科研修終了時には振り返りの機会を作り、研修医同士でプレゼンテーションを行い研修成果を確認し合うようにしています。

また、研修医との話し合いの機会を多く作り、研修システムの改善を常に行っています。研修医同士は仲が良く、自由に意見が言える雰囲気がありますので、プログラムを消化していただくだけの研修ではなく参加創造していく研修を目指しています。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 6ヵ月						救急部門 3ヵ月			産婦人科	小児科	精神科
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次	麻酔科	地域医療 1ヵ月	一般外科	一般外来	選択科目 8ヵ月							

■ 研修協力病院・研修協力施設

杵築市立山香病院、亀川児玉病院、姫島村国民健康保険診療所、宮崎医院、ごとう医院

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：非常勤
- 基本給：1年次：月額370,000円程度
2年次：月額400,000円程度
※上記に時間外・休日・当直手当
- 賞与：有り
- 基本的な勤務時間：8：30～16：15
- 休暇：1年目20日間（採用日に付与）
特別休暇等あり
- 宿日直：週1回程度
- 出張：旅費支給 学会発表者 年2回程度
- 加入保険：健康保険・厚生年金に加入、労災保険適用有
- 医師賠償責任保険：個人加入
- 宿舍または住居手当：敷地内に宿舍あり
- 保育所の有無：有り

募集要項

- 募集定員：8名
- 応募資格：医学部卒業見込みのもの
- 募集期間：試験日は随時
- 必要書類：高等学校入学より現在まで、当院HPにて指定の「選考申込書兼履歴書」に写真を貼付
- 選考方法：面接

資料請求または応募連絡先

〒874-0011 大分県別府市大字内電1473

別府医療センター 事務部管理課

■ TEL: 0977-67-1111 ■ FAX: 0977-67-5766

■ E-Mail: nakayama.hiromi.nc@mail.hosp.go.jp

■ URL: <https://beppu.hosp.go.jp/>



各科研修会における気管挿管のコツのプレゼンテーション

諸君もこんな研修をしてみませんか？



各専門医の下で、ばりばり研修し、



時には疲れ果てる事もあるけど、温泉で疲れを癒し、ipadで理解を深める。



Doctor-Heliも来ます



国家公務員共済組合連合会 新別府病院

所在地 | 大分県別府市大字鶴見 3898 番地

病院長 | 泊 一秀

病院の概要

- 開設者：理事長 松元 崇
- 開設年月日：昭和30年12月3日
- 診療科目：内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、肛門外科、リハビリテーション科、放射線科、心臓血管外科、消化器内科、呼吸器外科、麻酔科、眼科、リウマチ科、救急科、内分泌・代謝内科、肝臓内科 計21科
- 病床数：263床
- 医師数：常勤43名、非常勤3名
- 研修指導医数：15名
- 1日平均外来患者数：262名
- 1日平均入院患者数：203名

研修・認定施設一覧

- 救命救急センター
- 地域医療支援病院
- 災害拠点病院
- 日本医療機能評価認定施設
- へき地医療拠点病院
- DPC対象病院
- DMAT対象病院
- 救急科専門医指定施設



病院長からの メッセージ

泊 一秀

皆さま方は卒業にあたり、将来の自分の姿を思い浮かべ、“頑張るぞー”という張り切った気持ちと少しの不安感を持っておられると思います。

学生時代に大学で学んだことを実際の医療現場での対応にどう結びつけるか不安があると思います。皆さんが知識と手技、思考法を実際の現場で数多く経験し、身に付けていけるように、当院の先生方、スタッフ一同は常にそのことを念頭に置き後進の医師の育成に励んでいます。

当院は救命救急センターを有しており、救急患者さんの初期対応を経験する機会も多く、プライマリーケアから重症患者対応まで幅広く経験することができます。また、多くの診療科が専門性の高い診療を行っており、指導医の先生方と精度の高い診断法、先進的な治療法・手術など数多く経験することができます。

病床数は263床と中規模の病院ではありますが、その分診療科の垣根はなく、カンファレンスでも幅広い検討や奥の深い討論が可能で、連携の取れた複数診療科にわたる治療も経験することができます。初期研修医の先生方には大病院とは違った経験が積めると考えます。

初期臨床研修医として医療の現場で多くの経験・知識を積み重ね、独り立ちに向けて、当院の初期臨床研修を実り多く有意義なものにしていきたいと病院長以下スタッフ一同考えています。

皆さんが新別府病院で研修されることを待っています。



研修医からの メッセージ

臨床研修2年目 大分大学医学部卒

石田 俊介

私は研修医の間に最低限の救急対応ができるようになりたいと考えています。3年目以降は専門領域に入って各自研鑽を積んでいくことになると思いますので、それまでにどこで

当直・日直しようが恥ずかしくない力を身に付ける必要があると思います。当院は研修医が救急部に所属したうえで各科をローテートするという形態をとっており、1次から3次救急まで扱っているため、軽症から重症まで様々な症例を経験することができます。研修医は手が空いた時いつでもERに行けるので、救急対応に関して大きく成長できると思います。また、研修医の人数も少なすぎず多すぎず絶妙な人数ですので、研修医の間に経験しておく手技に関しても困ることなく経験することができ、寂しい思いをすることもありません。私もまだまだ未熟者でまだまだこれからです。皆さんも一緒に当院で頑張っていきませんか？優しく熱心な先生方ばかりですのでお勧めですよ。ぜひ見学に来てください！



研修医からの メッセージ

臨床研修2年目 大分大学医学部卒

里永 賢郎

当院の1番の特徴は、3次救急を有する救急病院であることです。「断らない救急医療」をスローガンに掲げている当院は別府市で唯一の3次救急病院であり、別府市内のみならず県北の救急患者を多数受け入れています。風邪やめまい、頭痛などのcommon diseaseから重症外傷、CPA症例など様々な患者を初療から経験することができます。熱心で親切的な先生方のご指導もあり、研修医の間に身につけるべき知識や技術を学ぶには最適な環境です。多数の患者を受け入れる3次救急病院ですが研修医や医師の数は特別多いというわけではないため、症例や手技の取り合いにもならず学んだことをアウトプットする機会が十分にあります。研修医は毎朝ER症例検討会があり、前日の症例をもとに救急指導医に指導していただくことで、適切なER対応について毎日インプットすることができます。このインプットとアウトプットを繰り返すことで、知識と技術を定着させることができる当院は初期臨床研修を行うにあたり最適な病院であると実感しています。

当院は医師、コメディカルの方々を含め全ての方に親切に対応していただけます。ぜひ一度見学に来て当院の雰囲気を感じてみてください。皆さんと研修できる日を楽しみにしています。

研修プログラムの特徴

- ①何よりも研修医の自主性を尊重し、研修医とともに研修プログラムを作り上げていきます。
- ②病院職員全体で研修医を見守り、育てる姿勢を大切にしています。2011年度からは、メンター制度を取り入れました。レジデントクラスの医師が個々の研修医の相談役として面会・メール等を介してきめ細かく思いや考えを聞き適切なアドバイス等を通して研修医と一緒に問題解決にあたります。
- ③大分県の救命救急センターの1つであり、1次救急から最重症の3次救命医療まで幅広く学べます。ICUと救急棟各8床でハイレベルな集中治療に参加してもらえます。
- ④CPCに力を入れています。各研修医に1解剖症例の臨床報告（CPC）の開催を目標に取り組んでいます。これは2年次の研修医にも適用され、これまでに当院の臨床研修を受けた研修医はほぼ全員CPCレポートを終了しました。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内 科					外 科			麻酔科	救急分野		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次	小児科 (1ヶ月)	産婦人科 (1ヶ月)	精神科 (1ヶ月)	地域保健医療 (1ヶ月)	選択的研修分野（8ヶ月）							

■ 研修協力病院・研修協力施設

西別府病院、豊後大野市民病院、大分こども病院、別府医療センター、鶴見台病院、佐世保共済病院（長崎県）、阿蘇医療センター（熊本県）、姫島村国民健康保険診療所

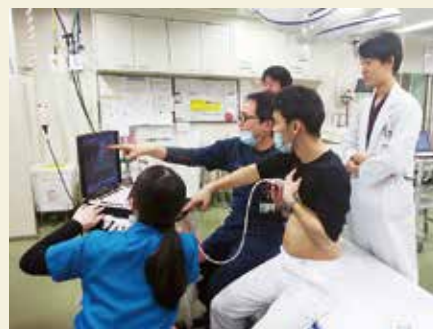
研修医の処遇

- 常勤または非常勤：非常勤
- 基 本 給：1年次：400,000円
2年次：450,000円
※上記に時間外・休日・当直手当は含まない
(時間外での勤務はありません)
(当直は月4回位)
- 賞 与：なし
- 基本的な勤務時間：8：30～17：15
- 休 暇：年末年始（12/29～1/3）、開院記念日12/3、有給12日、夏季休暇有 他
- 宿 日 直：月3～4回程度
- 出 張：あり
- 加入保険：政府管掌健康保険、公的年金保険、厚生年金保険
- 医師賠償責任保険：病院において加入する、個人加入は任意
- 宿舍または住居手当：住宅手当30,000円
- 保育所の有無：有

臨床研修 広報動画



見学お待ちしております！



研修風景



新別府病院ドクターカー

募集要項

- 募集定員：4名
- 応募資格：医師免許取得者で医師臨床研修を未修了の者、又は「第116回医師国家試験」により当該免許を取得する見込みの者
- 募集期間：随時
- 必要書類：履歴書、卒業（見込）証明書、成績証明書
- 選考方法：面接

資料請求または応募連絡先

〒874-8538 大分県別府市大字鶴見3898番地
国家公務員共済組合連合会新別府病院 総務課 甲斐

■ TEL：0977-22-0391 ■ FAX：0977-26-4170

■ E-Mail：soumu@shinbeppu-hosp.jp

■ URL：http://www.shinbeppu-hosp.jp





大分県厚生連 鶴見病院

所在地 | 別府市大字鶴見 4333 番地

病院長 | 鈴木 正義

病院の概要

- 開設者：大分県厚生農業協同組合連合会
- 開設年月日：昭和23年8月15日
- 診療科目：内科、吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、腎臓内科、肝臓内科、人工透析内科、小児科、外科、肝臓・胆道・脾臓外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、腎臓外科、泌尿器科、血管外科、内視鏡外科、眼科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断科、腫瘍内科、放射線治療科、病理診断科、救急科、神経内科
- 病床数：230床（一般208床、ICU4床、緩和ケア14床、感染症4床）
- 医師数：常勤64名（うち研修医11名）、非常勤27名
- 研修指導医数：27名
- 1日平均外来患者数：474名
- 1日平均入院患者数：190名

研修・認定施設一覧

- 日本医療機能評価機構認定施設
- 厚生労働省臨床研修病院指定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本内科学会認定教育関連病院
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- 日本血液学会認定血液研修施設
- 日本腎臓学会認定研修施設
- 日本アフェレンス学会認定施設
- 日本急性血液浄化学会認定指定施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設
- 日本外科学会指定外科専門医制度修練施設
- 日本脳神経外科学会認定研修施設
- 日本形成外科学会認定認定医研修施設
- 日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医教育施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本脳卒中学会一次脳卒中センター



病院長からの メッセージ

鈴木 正義

初期臨床研修の2年間は皆さんの医師としての基本が固まる大切な時期です。当院での研修が実り多きものになるように全職種・病院全職員全体で協力していきます。

医師は医学的知識技量だけでなく、高い職業倫理観、使命感を抱きつつ、怒（おもいやり）の心を持って患者さんと共に病に向き合うことが大切で、そのためには高いコミュニケーション能力が求められます。当院は総合医局制をとっており、診療科を越え、医局は和気藹々とした雰囲気です。時として伸び悩むこともあるかもしれませんが、諸先輩に気軽に相談すればきっと適切な指導を受けられることと思います。

お互いに切磋琢磨しながら、幅広く有意義な臨床研修を行って、医師として大きく成長されることを期待します。

研修医からのメッセージ

初期研修医1年目の吉川です。私は東京都出身で、久留米大学を卒業したため、大分県は縁も所縁もありませんでした。なぜ当院を選んだのか、そして実際の感想について皆さんの病院選びの参考になればと思います。

研修医として働くのに、皆さん様々な考えがあると思います。救急車のファーストタッチがしたい、手技がたくさんできる病院に行きたい、焦ることなくじっくり働きたいなどがあるでしょう。

私はプライマリ・ケアの習得はもちろんですが、手技に溺れることなく、医師としての心構えを育むことがこの2年間で最も大切だと考えていました。長い医師人生、本人のやる気や勉強量で成長の速度の差はあれ医師としての技量は上がっていくと思います。しかし、医師として第一歩を踏み出す最初の2年間でどのように過ごすかは今後の医師人生の土台となるため最も貴重です。初期研修はたった2年間ですが、専門性にとらわれず幅広く勉強できるのは最後の2年間になるかもしれません。様々な科の先生と出会い、医師としての覚悟や情熱を知ることができる数少ないチャンスです。

当院は他の病院との大きな違いとして、他職種との1ヶ月間の合同研修があります。私は学生時代に30施設ほど病院見学させていただきましたが、当院ほど他職種との交流、勉強会がある病院はありませんでした。他職種との交流が盛んである病院は、連絡の取りやすさから、働きやすさ、ひいては患者さんの利益にも直結します。コミュニケーション能力の向上、医師としての自覚にも大いに関わります。多くの病院がすぐに病棟業務、日直、当直という流れが普通かもしれませんが、私は早く一人前になることを目標とする風潮に疑問を感じます。

当院は臨床研修病院として病床数が格別に多いわけでもなく、医師の数も豊富であるため、研修医がいなければ回らない病院ではありません。研修医の医師としての自覚を育てながら、無理なく力を付けるプログラムが綿密に組まれているのです。

もちろん当院では手技や救急車の初期対応にも力を入れているので、研修医として必要な力は間違いなく身に付きます。

働いて2ヶ月ほど経ちますが、情熱溢れる先生からの指導や他職種との交流があり、私の選択は間違いなかったと自信を持って言い切れます。ここでは書ききれないことがまだまだたくさんありますので、是非当院の見学やWeb説明会に参加して下さい。皆さんお待ちしています。

研修プログラムの特徴

1 日本がん治療認定医機構認定研修施設

がん患者さんは高齢化し、多くの合併症を持っています。当院はリスクの高いがん患者さんに低侵襲で、安全な治療を実践しています。

(1) 健診センター・内視鏡センター、放射線治療の充実

健診から、速やかな診断、内視鏡治療や放射線治療、内視鏡外科手術、外来化学療法など低侵襲かつ複合的な治療

(2) 常勤臨床心理士や緩和ケアナースの緩和ケアチーム

がん治療早期より介入し、緩和ケア病棟や在宅で終末期ケアを行います。

がん治療には生活習慣病や多くの科の知識や技術が必要です。当院では、研修医諸君を知識、技術、忍耐力、コミュニケーション能力を持った臨床医に育てます。

2 地域の基幹救急病院

救急医療は医療の原点です。すべての医師がまずプライマリーの知識と技術を持つことです。当院は救急患者さんを多く受け入れながら、当直医の負担を軽減するために、軽症患者さんの時間外受診を抑制しています。

救急体制の特徴

(1) 放射線科医の24時間オンコール読影体制

(2) 診療科間の緊密な連携で、相互の時間外診療サポート

(3) 様子観察のための1泊入院制度

(4) 救急車2100例/年

研修医の当直時は上級医師がつき、負担が少ないようにしていますが、当直ほど勉強になる機会はありません。情熱のある研修医が満足できる臨床研修病院を目指します。

研修スケジュール

必須科 内科・救急・外科・小児科・産婦人科・精神科・地域医療・一般外来
※スケジュール例であり希望に沿ったカリキュラムを組むことができます。

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週
1年次	オリエンテーション 点滴・採血	内科（必修30週）					
2年次	地域医療 （必修4週）	産婦人科 （必修4週）	精神科 （必修4週）	小児科 （必修4週）	一般外来 （必修4週）	在宅医療	選択
	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
1年次	内科 （必修30週）	外科 （必修5週）	救急（麻酔科） （4週）	選択			
2年次	選択						

※救急科は、麻酔科もしくは救急科4週間研修を行います。また、1年次に通年で週1回の救急科研修を行い（並行研修）、残りの8週分とします。不足する場合は夜間当直の一部を救急科としてカウントします。

※一般外来研修は、小児科研修中に2週分、及び2年次の当院内での選択科研修中に総合内科外来にて週1日一般外来の並行研修を行い、併せて4週分とします。

※選択科目は本人の希望に沿い選択可能ですが、到達目標である症例経験が達成できるように配慮します。

■研修協力病院・研修協力施設

大分大学医学部附属病院、独立行政法人国立病院機構別府医療センター、医療法人新生会宇佐胃腸病院、宇佐高田医師会病院、大分県厚生連健康管理センター、老人保健施設シェモア鶴見、しおはま診療所、やまおか在宅クリニック、中津市国民健康保険槻木診療所、大分県東部保健所、大分県西部保健所、国東市民病院、杵築市立山香病院、医療法人恵友会杵築中央病院

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤
- 基本給：1年次：450,000円（税込）
2年次：480,000円（税込）
※当直手当は別途支給有り
- 賞与：無し
- 基本的な勤務時間：8：30～17：00
- 休暇：有給休暇 1年次10日、2年次20日
夏季・年末休暇有り、その他休暇（盆休2日）
- 日当直：1年次3回/月、2年次3回/月
※原則上記の回数ですが希望に沿って変更可能です
- 出張：必要に応じて病院負担有り
- 加入保険：公的医療保険（組合保険）、公的年金保険（厚生年金）
労働者災害補償保険法の適用有り、雇用保険有り
- 医師賠償責任保険：病院において加入、個人加入は任意
- 宿舍または住居手当：病院契約の不動産物件貸出あり、宿舍費一部負担
- 保育所の有無：有り

募集要項

- 募集定員：4名
- 応募資格：マッチングプログラム参加者、医師国家試験受験予定者
- 募集期間：7月中旬～8月上旬
- 必要書類：願書、履歴書 成績証明書、卒業（見込）証明書、小論文
- 選考方法：面接、小論文

資料請求または応募連絡先

〒874-8585 別府市大字鶴見4333番地
大分県厚生連鶴見病院 臨床研修センター

■TEL：0977-23-7111 ■FAX：0977-23-7039

■E-Mail：tt-center@ok-tsurumi.com

■URL：http://www.ok-tsurumi.com



病院での研修風景



中津市立 中津市民病院

所在地 | 中津市大字下池永 173 番地

病院長 | 折田 博之

病院の概要

- 開設者：中津市
- 開設年月日：2000年7月1日
- 診療科目：内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科、小児科、外科、消化器外科、内視鏡外科、乳腺外科、肛門外科、呼吸器外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科、リハビリテーション科
- 病床数：一般250床
- 医師数：常勤50名、研修医10名
- 研修指導医数：18名
- 1日平均外来患者数：280名
- 1日平均入院患者数：212.3名

研修・認定施設一覧

- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
- 日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本消化器学会認定施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- 日本病院総合診療医学会認定施設
- 日本小児神経学会認定研修施設
- 日本内科学会認定教育関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本IVR学会専門医修練施設
- 日本乳癌学会認定施設
- 日本脳卒中学会専門医研修教育病院
- 日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設
- 日本医学放射線学会専門医修練機関
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本アレルギー学会教育研修施設
- 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- 日本周産期・新生児医学会周産期新生児専門医暫定認定施設
- 日本周産期・新生児医学会母体・胎児専門医暫定研修施設
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本脾臓学会認定指導医指導施設
- 日本静脈経腸栄養学会・NST稼働施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定教育施設



病院長からの メッセージ

病院長
折田 博之

中津市民病院の病床数は250床と決して大きな病院ではありませんが、地域の中核病院として大分県北部と福岡県京築地方から広く患者さんを受け入れています。

救急患者は二次救急を中心に受け入れています。腹痛や頭痛、めまいなどのプライマリケアから、急性冠症候群や脳卒中、心肺停止症例などの重症疾患まで幅広い救急医療の経験を積むことができます。また、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センターなどの機能を持ち、周辺の医療機関から多くの入院患者さんが紹介され高度医療を行なっています。

当院の臨床研修の特徴は、顔が見える実践的な研修です。小さいからこそ指導医と研修医がお互いをよく知り、アットホームな雰囲気の中で個性に応じた指導のもと他職種とも連携しながら研修を行えます。単に研修生活を過ごすだけでなく医師としての故郷となる病院を目指しており、病院の開院記念講演会では多くの病院OBが集います。あなたも医師としての第1歩を中津市民病院で始めてみませんか。



研修医からの メッセージ

大学の6回生の時にこの病院に見学に来て、自由闊達な研修の雰囲気を感じ、1年目の希望先をこの病院と書いて提出した。もちろん、自分が生まれた病院だからということもあったかもしれない。とにかく、6年ぶりに私は地元に戻ってくることになった。

国家試験の直後ということで知識的にはある程度は自信があったが、現場で働く力はほぼゼロからのスタートであった。初めの頃は、点滴の時に周りを血まみれにしてしまったりして、よく看護師さんに怒られた。あの頃に比べれば成長したかなと思う。

この1年を振り返ってみると、いろいろな場面で頭に浮かび上がってくる。同期と患者の治療法や自分たちの進路について遅くまで議論し合った研修医室、回盲部まで到着していることに気づかずさらに突き進もうとしてしまったCF、救急にてCPAが連続して来た夜、同期の研修医同士が結婚するといきなり言い出した飲み会、そして30代の末期がんの患者さんを看取った病室……。

本当に濃い1年間だったと思う。そして思い出すことはやっぱり人とのつながりの中でのことばかりである。先生方、スタッフの皆さんには心から感謝しており、中津市民病院で医者としてのスタートを切れたことを幸せに思っている。

研修プログラムの特徴

- 「忙しすぎない、じっくり考える研修」をモットーに、救急にも対応可能な臨床力の獲得が可能です。
- 適正に担当患者数を制限するため、個々の患者さんに十分な時間をかけて接することができます。
- 中規模病院ならではの利点として、診療科間の壁が無く、診療科横断的な研修が可能です。また、内視鏡、観血的処置などの手技も多く経験できるため、臨床力が獲得できます。
- マンツーマン方式で指導を行なうため、研修途中でのカリキュラム変更にも柔軟に対応します。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						麻酔科	外科	小児科	産婦人科	選択科	
2年次	地域医療	精神科	選択科									

※内科研修は、一般内科・消化器内科・循環器内科で2ヶ月ずつ行う。

※救急研修は、麻酔科及び救急当直で行う。

※選択研修は、内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、放射線科、麻酔科、病理診断科などから組み合わせて研修を行う。

※一般外来は、地域医療と並行して研修を行う。

■研修協力病院

大貞病院（精神科）

■研修協力施設

津民診療所（地域医療）、槻木診療所（地域医療）、中津市医師会健診センター（地域医療）、北部保健所（地域医療）、佐藤第一病院（地域医療）、宇佐中央内科病院（地域医療）

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：非常勤
- 基本給：1年次：356,366円
2年次：361,208円
※上記に時間外・休日・当直手当は含まない
- 賞与：有り（年間400,000円程度）
- 基本的な勤務時間：8：30～16：45（うち休憩時間45分）
- 休暇：有給休暇 10日間
土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）
- 宿日直：4回程度
- 出張：発表等は制限なし、聴講のみ等は2回まで
- 加入保険：協会けんぽ、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険：病院（加入）、個人（任意）
- 宿舍または住居手当：官舎あり。もしくは住宅費一部支給
- 保育所の有無：有り

募集要項

- 募集定員：5名
- 応募資格：医師臨床研修マッチング協議会が行うマッチングに参加登録予定の方
- 募集期間：募集定員に達するまで（一次締切8月末）
- 必要書類：履歴書、卒業（見込）証明書
- 選考方法：書類審査、面接

資料請求または応募連絡先

〒871-8511 中津市大字下池永173番地
中津市民病院 総務課総務係 主任 早田 嵐

■TEL：0979-22-2480 ■FAX：0979-22-2481

■E-Mail：soumu2@nakatsu-hosp.jp

■URL：www.city-nakatsu.jp/hospital/index.html



DMAT（災害訓練）



術前カンファレンス



新採用職員懇親会



大分県済生会 日田病院

所在地 | 日田市大字三和 643 番地の 7

病院長 | 林田 良三

病院の概要

- 開設者：社会福祉法人済生会支部大分県済生会
- 開設年月日：1990年10月1日
- 診療科目：内科、心臓血管内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科（人工透析）、脳神経内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、頸部外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、婦人科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科
- 病床数：199床（一般195床、感染症4床）
- 医師数：常勤31名、非常勤39名
- 研修指導医数：16名
- 1日平均外来患者数：247名（令和2年度）
- 1日平均入院患者数：169名（令和2年度）

研修・認定施設一覧

日本呼吸器外科学会認定専門研修連携施設、日本循環器学会研修施設、日本消化器外科学会専門医制度修練施設、日本胸部外科学会認定修練施設（呼吸器外科）、日本病理学会認定研修登録施設、日本

口腔外科学会認定研修施設、日本顎関節学会認定研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）、日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院、日本大腸肛門病学会認定施設、日本乳癌学会認定施設、

日本血液学会専門研修教育施設、日本外科学会認定医制度修練施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練協力機関、日本がん治療認定医機構認定研修施設 他



病院長からの メッセージ

林田 良三

当院は大分県西部医療圏において、急性期医療の中核を担う公的病院です。総病床数は199床ですが、この地域に不足している医療機能を補完する役割から病床の多機能化を図ってきました。現在はHCU、救急病棟を含めた一般病床120床、回復期病床32床、地域包括ケア病床33床、緩和ケア病床14床で運用しています。また、へき地医療拠点病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院など地域で唯一の認定、指定を受けています。年間の救急車の搬入台数（2020年）は1,351台でした。これはこの地域の救急車総出動件数のおよそ3割にあたります。

当院の特徴は前述のように急性期から回復期、慢性期（緩和医療）に至るまで幅広い診療を行っていることです。また、臨床研修協力病院として久留米大学病院、久留米大学医療センター、さらに地域の臨床研修協力施設、保健所等を登録しており、研修医のあらゆる要望に応えられる体制をとっております。

病院規模から一年次、二年次ともに受け入れられる研修医は各2名ずつと少ないのですが、研修医1人あたり経験できる症例数は数多く、目がいきわたる分、よりきめ細やかな指導が可能になるものと考えております。

地域医療の危機が叫ばれているなか、当院で地域医療を経験していただき、将来、地域医療を担っていただけるような臨床研修医を求めています。当院での臨床研修をご検討いただければ幸いです。



研修医からの メッセージ

川口 勝輝

私は当院で初期研修を終え、消化器内科医として引き続き後期研修を行い、その後、長崎医療センターでの勤務を経て、今は久留米大学医療センターで総合診療科医として勤務しています。充実した指導体制と診療科間の連携の良さが当院で研修をする決め手となりました。大学病院などと比較し、経験できる内視鏡症例は格段に多く、出血性潰瘍、胆管炎など多種多様な症例を受け持つことができ、当院で研修を続けて良かったと日々実感しています。当直業務を担当するときも、初期研修の経験が生きていると感じています。自分で経験したからこそ、当院での研修は自分を成長させてくれると自信を持って言えます。

いつか日田病院へ戻って地域医療に貢献できればと考えています。

研修プログラムの特徴

1 年次研修では、基本研修として、内科（心臓血管内科、血液内科、腎臓内科）、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科の研修を行います。引き続き行う 2 年次研修では、麻酔科、地域医療、自由選択科目のローテーション研修を行います。

将来、いずれの分野を目指したとしても、必ず必要となるプライマリケアから救急医療までの基本的な診療を学ぶ研修体制作りを行っています。また、大学の教育関連施設として教育・研修に特に力を注ぎ、医師としての人格を涵養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、基本的な診療能力をしっかりと修得できる研修の場を提供します。選択については柔軟に対応可能です。診療科間の垣根も低く、病院スタッフ丸となり研修医の指導を行っています。

研修スケジュール

1 年次																																																			
1 週	2 週	3 週	4 週	5 週	6 週	7 週	8 週	9 週	10 週	11 週	12 週	13 週	14 週	15 週	16 週	17 週	18 週	19 週	20 週	21 週	22 週	23 週	24 週	25 週	26 週	27 週	28 週	29 週	30 週	31 週	32 週	33 週	34 週	35 週	36 週	37 週	38 週	39 週	40 週	41 週	42 週	43 週	44 週	45 週	46 週	47 週	48 週	49 週	50 週	51 週	52 週
内科 24 週間																								救急部門 12 週間												外科 4 週間				小児科 4 週間		産婦人科 4 週間		精神科 4 週間							
2 年次																																																			
1 週	2 週	3 週	4 週	5 週	6 週	7 週	8 週	9 週	10 週	11 週	12 週	13 週	14 週	15 週	16 週	17 週	18 週	19 週	20 週	21 週	22 週	23 週	24 週	25 週	26 週	27 週	28 週	29 週	30 週	31 週	32 週	33 週	34 週	35 週	36 週	37 週	38 週	39 週	40 週	41 週	42 週	43 週	44 週	45 週	46 週	47 週	48 週	49 週	50 週	51 週	52 週
麻酔科 4 週間				地域医療 4 週間				自由選択 44 週間																																											

〔内科・救急部門・外科・小児科・一般外来〕…大分県済生会日田病院で研修を行う〔産婦人科〕…久留米大学病院・藤吉産婦人科・大分県済生会日田病院（婦人科のみ）で研修を行う〔地域医療〕…大分県済生会日田病院・岩手県済生会岩泉病院で研修を行う〔精神科〕…久留米大学病院・奥村日田病院で研修を行う〔自由選択〕…大分県済生会日田病院・大分県西部保健所・久留米大学病院・久留米大学医療センターで研修を行う

■ 協力型臨床研修病院・研修協力施設

久留米大学病院、久留米大学医療センター、岩手県済生会岩泉病院、奥村日田病院、藤吉産婦人科、大分県西部保健所

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤
- 基 本 給：1 年次：274,500 円程度
2 年次：278,500 円程度
※上記に調整手当、時間外・休日・当直手当は含まない
- 賞 与：有り
1 年次：71 万円程度
2 年次：113 万円程度
- 基本的な勤務時間：8：30～17：24（うち昼休み 1 時間）
- 休 暇：有給休暇 1 年次 15 日、2 年次 20 日
年末年始休暇
- 宿 日 直：約 3 回／月
- 出 張：原則病院が全額負担している
- 加入保険：公的医療保険（協会けんぽ）、公的年金保険（厚生年金）・労働者災害補償保険法の適用有、雇用保険有
- 医師賠償責任保険：病院において加入する（個人加入任意）
- 宿舍または住居手当：住宅手当 上限 40,000 円
- 保育所の有無：有り

募集要項

- 募集定員：2 名
- 応募資格：当該年度国家試験受験予定者
- 募集期間：8 月末日まで
- 必要書類：履歴書、卒業（見込み）証明書、成績証明書
- 選考方法：面接

資料請求または応募連絡先

〒877-1292 日田市大字三和 643 番地の 7
大分県済生会日田病院 総務課 辛川 幸久

■ TEL: 0973-24-1100 ■ FAX: 0973-22-1269

■ E-Mail: jinji@saiseikai.hita.oita.jp

■ URL: <http://saiseikai.hita.oita.jp>



研修風景



指導医による心臓カテーテル施行指導



和やかな病院忘年会

2022年度 県内の専門研修プログラムの連携施設について

	1 内科			
基幹施設	大分大学医学部附属病院		大分県立病院	大分県済生会日田病院
プログラム名	大分大学内科専門医研修プログラム		大分県立病院 内科専門医研修 プログラム	大分県済生会日田病院 内科専門医研修 プログラム
募集定員(希望)	35人		3人	3人
研修期間	3年間		3年間	3年間
連携施設	大分県立病院 大分赤十字病院 大分医療センター アルメイダ病院 大分岡病院 大分中村病院 別府医療センター 新別府病院 厚生連鶴見病院 済生会日田病院 中津市民病院 三愛メディカルセンター 天心堂へつぎ病院 大分健生病院 有田胃腸病院 佐賀関病院 湯布院病院 津久見中央病院 西別府病院	国東市民病院 杵築市立山香病院 長門記念病院 豊後大野市民病院 みえ病院 大久保病院 高田中央病院 コスモス病院 宇佐高田医師会病院 大分循環器病院 南海医療センター 佐伯中央病院 姫島村診療所 国立循環器病研究センター 西田病院 産業医科大学病院 昭和大学病院 昭和大学藤が丘病院 昭和大学江東豊洲病院	昭和大学横浜市北部病院 大分大学医学部附属病院 豊後大野市民病院 杵築市立山香病院 国東市民病院 姫島村診療所 長崎大学病院 長崎原爆病院 長崎みなとメディカルセンター 飯塚病院 JCHO九州病院 九州大学病院 長崎医療センター	久留米大学病院
	計39施設		計12施設	計1施設

	2 救急科	3 小児科		4 精神科
基幹施設	大分大学医学部附属病院	大分大学医学部附属病院		大分県立病院 大分大学医学部附属病院
プログラム名	大分大学 救急科専門研修 プログラム	大分大学小児科研修医(専攻医)プログラム		大分県立病院 小児科研修医(専攻医) プログラム 大分大学医学部附属病院 連携施設群精神科 専門医研修プログラム
募集定員(希望)	5 人	8 人		3 人 5 人
研修期間	3 年間	3 年間		3 年間
連携施設	大分県立病院 アルメイダ病院 新別府病院 大分中村病院 大分赤十字病院 大分岡病院 別府医療センター コスモス病院 大阪府済生会千里病院 福岡東医療センター	大分県立病院 アルメイダ病院 厚生連鶴見病院 中津市民病院 別府医療センター (関連施設) 大分赤十字病院 (関連施設) 西田病院 産業医科大学病院 西別府病院 (関連施設) 豊後大野市民病院 (関連施設) 大分こども病院 (関連施設) 杵築市立山香病院 (関連施設) 別府発達医療センター (関連施設)	国東市民病院 (関連施設) 大分健生病院 (関連施設)	大分大学医学部附属病院 別府医療センター 中津市民病院 九州大学病院 JCHO九州病院 大分県立病院 別府医療センター 衛藤病院 大分丘の上病院 佐藤病院 帆秋病院 大分県こころとからだの 相談支援センター 鶴見台病院 向井病院 山本病院 宇佐病院 大貞病院 産業医科大学病院
	計10施設	計15施設		計 5 施設 計13施設

※太字は大分県臨床研修病院です。

	4 精神科		5 外科		
基幹施設	別府医療センター	帆秋病院	大分大学医学部附属病院	大分県立病院	
プログラム名	別府医療センター 連携施設群精神科 専門医研修プログラム	帆秋病院 精神科専門医研修 プログラム	大分大学外科研修プログラム	大分県立病院 外科専門研修 プログラム	
募集定員(希望)	1 人	4 人	10人	2 人	
研修期間	3 年間	3 年間	3 年間	3 年間	
連携施設	大分大学医学部附属病院 大分県立病院 衛藤病院 大分丘の上病院 佐藤病院 帆秋病院 大分県こころとからだの 相談支援センター 鶴見台病院 向井病院 山本病院 宇佐病院	大分大学医学部附属病院 大分県立病院 九州大学病院 九州医療センター 福岡県立精神医療センター 太宰府病院	大分県立病院 大分赤十字病院 大分医療センター アルメイダ病院 大分岡病院 大分中村病院 別府医療センター 厚生連鶴見病院 新別府病院 中津市民病院 三愛メディカルセンター 天心堂へつぎ病院 大分こども病院 有田胃腸病院 むねむら大腸肛門クリニック コスモス病院 津久見中央病院 野口病院 中村病院	国東市民病院 南海医療センター 西田病院 豊後大野市民病院 大久保病院 日田中央病院 中津胃腸病院 酒井病院 佐藤第一病院 和田病院 戸畑総合病院 熊本赤十字病院 済生会熊本病院 埼玉石心会病院 脳神経疾患研究所総合南 東北病院	大分赤十字病院 別府医療センター 中津市民病院 大分大学医学部附属病院 九州大学病院
	計11施設	計 5 施設	計34施設	計 5 施設	

	6 整形外科				7 産婦人科
基幹施設	大分大学医学部附属病院	大分中村病院	大分整形外科病院	別府医療センター	大分大学医学部附属病院
プログラム名	大分大学 整形外科専門研修 プログラム	大分県整形外科 専門研修プログラム	大分整形外科病院 整形外科専門研修 プログラム	別府医療センター 整形外科専門研修 プログラム	大分大学医学部附属病院 産婦人科専門研修施設群 専門研修プログラム
募集定員(希望)	6人	2人	2人	2人	10人
研修期間	4年間	4年間	4年間	4年間	3年間
連携施設	大分県立病院 大分医療センター アルメイダ病院 大分岡病院 厚生連鶴見病院 新別府病院 明野中央病院 湯布院病院 津久見中央病院 別府発達医療センター 中村病院 サンライズ酒井病院 南海医療センター 豊後大野市民病院 大久保病院 三愛メディカルセンター 内田病院 コスモス病院 熊本整形外科病院	大分大学医学部附属病院 高田中央病院 大分循環器病院 黒木記念病院 佐伯中央病院 川島整形外科病院	大分赤十字病院 別府医療センター 若宮病院 福岡大学病院 福岡大学筑紫病院 福岡リハビリテーション病院 飯塚市立病院 長崎県対馬病院 長崎県壱岐病院 聖峰会マリン病院	大分赤十字病院 九州大学病院別府病院 大分整形外科病院 若宮病院 九州大学病院 九州医療センター 福岡赤十字病院 浜の町病院 佐賀県医療センター好生館 唐津赤十字病院 佐世保共済病院 山口赤十字病院 県立宮崎病院 広島赤十字・原爆病院 下関市立市民病院 九州中央病院 福岡市立こども病院	大分県立病院 アルメイダ病院 中津市民病院 大分医療センター セント・ルカ産婦人科 大川産婦人科
	計19施設	計6施設	計10施設	計17施設	計6施設

	7 産婦人科	8 麻酔科		9 皮膚科
基幹施設	大分県立病院	大分大学医学部附属病院		大分大学医学部附属病院
プログラム名	大分県立病院産婦人科 専門研修施設群専門研修 プログラム	大分大学医学部附属病院麻酔科専門研修 プログラム		大分大学医学部 皮膚科研修 プログラム
募集定員(希望)	3人	14人		3人
研修期間	3年間	4年間		5年間
連携施設	大分大学医学部附属病院 中津市民病院 大川産婦人科 セント・ルカ産婦人科	大分県立病院 大分赤十字病院 大分医療センター アルメイダ病院 大分岡病院 別府医療センター 中津市民病院 厚生連鶴見病院 三愛メディカルセンター 福岡市立こども病院 北九州総合病院 熊本大学病院 熊本赤十字病院 済生会熊本病院 熊本医療センター 熊本中央病院 産業医科大学病院 九州労災病院 神戸労災病院 JCHO九州病院		大分県立病院 別府医療センター アルメイダ病院 (準連携施設) 大分健生病院 (準連携施設) 高田中央病院 (準連携施設) 札幌皮膚病理診断科 (準連携施設)
	計4施設	計38施設		計6施設

	10 眼 科	11 耳鼻咽喉科	12 泌尿器科	13 脳神経外科	14 放射線科
基幹施設	大分大学医学部附属病院	大分大学医学部附属病院	大分大学医学部附属病院	大分大学医学部附属病院	大分大学医学部附属病院
プログラム名	大分大学医学部附属病院 眼科専門研修 プログラム	大分大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科専門研修 プログラム	大分県泌尿器科 専門研修プログラム	脳神経外科専門研修 大分大学医学部 脳神経外科プログラム	大分大学放射線科 専門研修プログラム
募集定員(希望)	4人	3人	5人	2人	5人
研修期間	4年間	4年間	4年間	4年間	3年間
連携施設	大分県立病院 別府医療センター 新別府病院 大分赤十字病院 新別府病院 大分合同庁舎診療所 天心堂へつぎ病院 天心堂へつぎ診療所 豊後大野市民病院 九州大学病院 JCHO九州病院 飯塚病院 南九州病院 高田中央病院 (関連施設) 佐賀関病院 (関連施設) 長門記念病院 (関連施設) 別府中央病院 (関連施設)	大分県立病院 別府医療センター 九州大学病院 久留米大学病院 福岡大学病院	大分赤十字病院 大分医療センター アルメイダ病院 別府医療センター 厚生連鶴見病院 新別府病院 三愛メディカルセンター 津久見中央病院 中村病院 豊後大野市民病院 南海医療センター 別府湾腎泌尿器病医院 西田病院	大分県立病院 別府医療センター 厚生連鶴見病院 アルメイダ病院 (関連施設) 大分赤十字病院 (関連施設) 中津市民病院 (関連施設) 大分岡病院 (関連施設) 永富脳神経外科病院 一ノ宮脳神経外科病院 中津脳神経外科病院 (関連施設) 南海医療センター (関連施設) 河野脳神経外科病院 (関連施設) 熊本大学大学病院 (関連施設) 宮崎大学医学部附属病院 (関連施設)	大分県立病院 大分赤十字病院 厚生連鶴見病院 新別府病院 九州大学病院 福岡大学病院
	計16施設	計5施設	計13施設	計14施設	計6施設

※太字は大分県臨床研修病院です。

	15 病理科	16 臨床検査科	17 形成外科		18 リハビリテーション科
基幹施設	大分大学医学部附属病院	大分大学医学部附属病院	大分県立病院	大分岡病院	大分大学医学部附属病院
プログラム名	大分県大分大学医学部 病理専門研修プログラム	大分大学臨床検査 専門研修プログラム	大分県形成外科 専門研修プログラム	大分岡病院創傷センター 形成外科プログラム	大分県リハビリテーション科 専門研修プログラム
募集定員(希望)	1人	1人	5人	1人	2人
研修期間	3年間	3年間	4年間	4年間	3年間
連携施設	大分県立病院 大分医療センター アルメイダ病院 大分岡病院 厚生連鶴見病院 南海医療センター 野口病院	大久保病院	大分大学医学部附属病院 アルメイダ病院 大分岡病院 別府医療センター 福岡大学病院	順天堂大学附属順天堂医院 神戸大学医学部附属病院 下北沢病院	大分中村病院 明野中央病院 井野辺病院 諏訪の杜病院 別府リハビリテーションセンター 別府発達医療センター
	計7施設	計1施設	計5施設	計3施設	計6施設

	19 総合診療科		
基幹施設	大分大学医学部附属病院	大分健生病院	湯布院病院
プログラム名	豊の国大分総合診療 専門研修プログラム	大分県医療生協 総合診療専門研修 プログラム	JCHO湯布院病院 総合診療専門研修 プログラム
募集定員(希望)	4人	2人	2人
研修期間	3年間	3年間	3年間
連携施設	大分県立病院 大分赤十字病院 アルメイダ病院 別府医療センター 大分健生病院 大分こども病院 佐賀関病院 渡辺内科医院 宮崎医院 国東市民病院 杵築市立山香病院 豊後大野市民病院 姫島村診療所 津久見中央病院 佐伯中央病院 坂ノ市病院 よつばファミリークリニック 飯塚病院 三愛メディカルセンター 高田中央病院	大分赤十字病院 アルメイダ病院 大分整形外科病院 竹田診療所 おかだ眼科 けんせいホームケアクリニック けんせい歯科クリニック	JCHO九州病院 JCHO高岡ふしき病院
	計20施設	計7施設	計2施設

大分県医師会男女共同参画委員会より

時代の流れにより、大分大学では女性医師の占める割合は40%を超え、医師の偏在による医師不足の折から「子育て支援」「勤務環境の整備」に力を入れてきました。

一方では「女性活躍推進法」や「働き方改革」など女性の働き方も多様になってきました。コロナ禍によってさらに医師の業務は重くなっています。

大分県でも「大分県男女共同参画委員会」として、大分大学の「大分大学女性研究者サポート室」と協力し、また大分県の行政とも連携を取りながら、より良い女性医師の働く環境づくりを目指しています。

産休・育休後の再就職が不安な女性医師に「再就職支援協力医療機関」を募って、研修に協力してもらうように準備を進め

ました。大分の官公立の病院はもちろん、民間の病院も女性医師の働く環境に柔軟な対応を示してくれています。同時に病児保育、学童保育など保育環境も徐々に整備されています。

現在さらに詳しいアンケートを取って、「ガイドブック」を作成しました。

女子学生・研修医のあなた方が、自分の目指す方向に向かってがんばれるよう、研修病院はもちろんのこと、大学や行政そして大分県医師会（男女共同参画委員会）も協力します。

女性医師に対するアンケートによれば、73%の女性医師が「医師になってよかった」と感じています。あなたがその1人となれるよう、「最初の1歩」として、慎重にそして前向きに研修病院の選択をしてください。心からエールを送ります。

大分県医師会男女共同参画委員会委員長

谷口 邦子

大分大学の取組み

大分大学には、女性医師（女性医療人）が働きやすい環境を整えるために、男女共同参画推進室（2010年度設置）と女性医療人キャリア支援センター（2014年度開室）があります。仕事と家庭の両立だけでなく、キャリアを繋ぎ、キャリアアップしていくことは女性だけでなく、男性も含めた医療人全体に

とって大切なことだと考えています。

大分県、大分大学地域医療学センター、卒後臨床研修センターと連携して、女性医療人のキャリアアップ・キャリア継続・両立支援という3つの面で、次にあげるさまざまな支援をしています。

① ひまわり保育園：院内にあります。

② 病児保育室「ひだまり」：急なお子様のどんな病気にも専門保育士・看護師が対応します。

病児保育とは…

お子さまが発熱したり、急に病気になったとき、いつも通っている保育園や小学校に登園・登校することができなくなったり、途中で迎えに行かなくてはならなくなり、仕事を休んだり中断する必要が生じます。こんなとき、看護師・保育士がお子さまの保育や看護をすることが「病児保育」です。

③ 柔軟な勤務時間体制：時短勤務の制度があります。

④ 休憩室：体調不良時や搾乳などに利用できます。

⑤ 育児支援サービス事業：ベビーシッター補助券などの支援制度があります。

⑥ キャリアアップのための研究補助員制度、学会派遣支援制度があります。

⑦ 復帰研修プログラム：育児休暇終了後の研修に役立つセミナーなどを行なっています。

⑧ キャリアカウンセラーの配置、相談室があります。

⑨ 交流会、キャリアパス懇談会を行なっています。

⑩ セミナー、HP、広報誌があります。

これからも皆様が安心してずっと働き続けるために必要な応援をしていきたいと思っています。

大分大学男女共同参画推進室長

松浦 恵子



FAB子ちゃん

FAB子（ふあぶこ）ちゃんは男女共同参画推進室オリジナルキャラクターです。
FAB: Fabulous Academics at Bundai
(大分大学のすばらしき大学人)

Spa 温泉

海地獄

全国の温泉を知り尽くす温泉の達人たちが
この世とは思えないほど幻想的で美しいと
絶賛する別府温泉。

長湯温泉

山頭火が「あかつきの湯が、
私一人をあたためてくれる」
と歌を詠んだ長湯温泉。

美肌を実感する温泉浴

由布院温泉

ゆったりとした稜線が美しい
由布岳の絶景を望む露天風呂。

竹瓦温泉



日本一のおんせん県 **おおいた**。味力も満載。

麦焼酎



全国でも有名な大分の麦焼酎。
新鮮な食材にとっても合う。

佐伯寿司



鮮度抜群のネタが
一年中味わえる。
地物の旨さと
職人技が光る
“世界一の寿司”。

ふぐ



豊後牛

大分県を代表する一級品、豊後牛。
赤身に霜降りがほどよく調和し、
やわらかくてとろけるような味わい。



身がしまり、弾力のある歯ごたえがたまらない。
さばを刺身で食べられるのも大分の自慢。

関あじ・関さば



産地ならではの鮮度と極味



とり天

鶏肉消費量No.1の大分県が代表する
大分のソウルフード。
子供から大人までみんな大好き！

食

Food



**大分県地域医療支援センター
大分大学医学部附属地域医療学センター**

大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1 丁目 1 番地

TEL 097-586-6306

E-mail chi-ryou@oita-u.ac.jp

HP <http://oita-chiiki.jp/>